

新庁舎整備事業 倉庫 I 建設工事

2019年3月

香山壽夫建築研究所

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A001	図面リスト	-	S001	特記 1	-						
A002	設計概要・付近見取図	-	S002	特記 2	-						
A003	敷地求積図	1/250	S003	特記 3	-						
A004	建築工事特記仕様書 1	-	S004	構造標準図 1	-						
A005	建築工事特記仕様書 2	-	S005	構造標準図 2	-						
A006	建築工事特記仕様書 3	-	S006	構造標準図 3	-						
A007	建築工事特記仕様書 4	-	S007	構造標準図 4	-						
A008	建築工事特記仕様書 5	-	S008	構造標準図 5	-						
A009	建築工事特記仕様書 6	-	S009	構造標準図 6	-						
A010	建築工事特記仕様書 7	-	S010	構造標準図 7	-						
A011	建築工事特記仕様書 8	-	S011	構造標準図 8	-						
A012	建築工事特記仕様書 9	-	S012	構造標準図 9	-						
A013	建築工事特記仕様書 10	-	S013	構造標準図 10	-						
A014	建築工事特記仕様書 11	-									
A101	配置図	1/250	S101	伏図 1	1/50						
A102	求積図/地盤面算定	-	S102	伏図 2	1/50						
			S103	軸組図 1	1/50						
A103	平面図・天井伏図・立面図・屋根伏図	1/50	S104	断面リスト	1/50						
A104	断面図	1/50									
A105	建具表	1/100									
参001	現況レベル図/仮設計画図(参考図)	1/400									

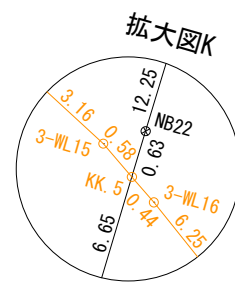
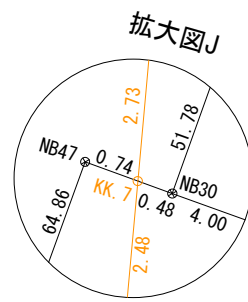
新庁舎整備事業 倉庫 I 建設工事			
KT1-A001	図面リスト		
	縮尺 -	日付 2019.2	
<small>一級建築士事務所第12399号(有)香山壽夫建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 一級建築士第65408号 佐伯和俊 構造:一級建築士事務所 東京都知事登録第56306号 株式会社 KAP 一級建築士第341678号(構造設計)一級建築士第9490号 萩生田秀之</small>			

487-4道路外敷地			
測点	X	Y	辺長
NB47	-91916.666	-52806.619	0.74
KK.7	-91916.717	-52805.880	2.48
5-WL24	-91919.157	-52805.413	5.22
5-WL23	-91924.244	-52804.234	2.61
5-WL22	-91926.763	-52803.547	2.61
5-WL21	-91929.282	-52802.860	5.11
KK.6	-91934.157	-52801.327	48.03
NB26	-91982.091	-52804.515	10.81
NB25	-91992.901	-52804.893	4.82
NB23	-91997.728	-52805.014	12.25
NB22	-92009.979	-52805.163	0.63
KK.5	-92010.611	-52805.171	0.58
3-WL15	-92010.292	-52805.656	3.16
3-WL14	-92008.874	-52808.487	4.36
KK.4	-92007.325	-52812.564	14.99
NB35	-91992.364	-52811.630	11.00
NB33	-91981.377	-52811.058	64.86
倍面積		-1117.073056	
面積		558.536528	
		558.53	m2

487-5道路外敷地1			
測点	X	Y	辺長
KK.6	-91934.157	-52801.327	0.11
5-WL20	-91934.263	-52801.294	4.92
5-WL19	-91938.903	-52799.637	7.43
5-WL18	-91945.931	-52797.207	4.20
5-WL17	-91949.969	-52796.031	4.20
5-WL16	-91954.044	-52794.993	4.20
5-WL15	-91958.151	-52794.093	4.28
5-WL14	-91962.365	-52793.319	2.21
5-WL13	-91964.553	-52792.977	4.77
5-WL12	-91969.293	-52792.370	4.77
5-WL11	-91974.053	-52791.947	4.77
5-WL10	-91978.826	-52791.707	4.77
5-WL9	-91983.604	-52791.650	3.00
5-WL8	-91986.611	-52791.709	6.08
5-WL7	-91992.696	-52791.901	7.38
5-WL6	-92000.072	-52792.212	3.01
5-WL5	-92003.061	-52792.589	2.75
5-WL4	-92005.763	-52793.146	2.75
5-WL3	-92008.414	-52793.903	2.75
5-WL2	-92011.001	-52794.855	2.75
5-WL1	-92013.508	-52796.001	3.79
3-WL17	-92014.451	-52799.681	6.25
3-WL16	-92010.854	-52804.800	0.44
KK.5	-92010.611	-52805.171	0.63
NB22	-92009.979	-52805.163	12.25
NB23	-91997.728	-52805.014	4.82
NB25	-91992.901	-52804.893	10.81
NB26	-91982.091	-52804.515	48.03
倍面積		-1531.608501	
面積		765.8042505	
		765.80	m2

敷地面積表

487-4道路外敷地	558.53
487-5道路外敷地1	765.80
地積	1324.33 m2



敷地面積求積図

新庁舎整備事業 倉庫1建設工事

KT1-A003

敷地求積図

縮尺 1/250(A1) 1/500(A3) 日付 2019.02

一級建築士事務所(有)香山設計事務所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 一級建築士第65408号 佐伯和俊
 構造:一級建築士事務所 東京都知事登録第56306号 株式会社 KAP 一級建築士第341678号(構造設計一級建築士第9490号) 取生田秀之

	特記仕様書	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項															
	<p>1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。</p> <p>2. 本特記仕様書における採用事項</p> <p>a. 項目欄は番号等に ○印を付したものを適用する。</p> <p>b. 項目欄に ○印を付し特記事項欄に ○印を付していない場合は標準仕様書による。</p> <p>c. 特記事項は ○印を付したものを適用する。但し ○印の付かない場合は※印の付した事項を採用する。</p> <p>○印と ※印を付した場合は共に適用する。</p> <p>3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。</p> <ul style="list-style-type: none">○公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)○建築工事標準詳細図 平成28年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)○敷地調査共通仕様書 平成27年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)○建築鉄骨設計基準及び同解説 平成10年版(建設大臣官房官庁営繕部監修)○公共建築改修工事標準仕様書 平成28年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)○公共建築木造工事標準仕様書 平成28年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)○公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)平成28年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)○公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)平成28年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) <p>4. その他事項</p> <ul style="list-style-type: none">○各項目欄の番号(例:1.4 ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する○各項目欄の番号(例:1.* ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする			<p>○完成写真</p> <table border="1"><thead><tr><th>分類・規格</th><th>撮影箇所数</th><th>提出部数</th><th>原板の大きさ(mm)</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">○カラー ※キャビン版 ※べた焼</td><td>外部(5)内部(5)</td><td>※3 ※2・6</td><td>※100×125以上</td></tr><tr><td>カラー半切木製パネル 324×400(mm)</td><td>外部()内部()</td><td>※2・</td></tr><tr><td>○電子データ</td><td>外部(5)内部(5)</td><td>※2・</td><td>※200万画素以上 ※300dpi以上</td></tr></tbody></table> <p>100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。電子データは、RGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。撮影業者 ※監督員の承諾する撮影業者 (ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。)</p> <p>○設備工事との取合い</p> <p>○工事写真</p> <p>○工事報告書</p> <p>工事の進捗度表、作業員の出席報告、工事箇所図および工事状況写真などを記載した工事報告書を月末ごとに提出する。</p> <p>検査、または監督職員の指示により命じられた手直し工事は、手直し前、中、後が判断できる写真を撮影し報告書を添えて提出する。</p>	分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)	○カラー ※キャビン版 ※べた焼	外部(5)内部(5)	※3 ※2・6	※100×125以上	カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部()内部()	※2・	○電子データ	外部(5)内部(5)	※2・	※200万画素以上 ※300dpi以上			
分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)																			
○カラー ※キャビン版 ※べた焼	外部(5)内部(5)	※3 ※2・6	※100×125以上																			
	カラー半切木製パネル 324×400(mm)	外部()内部()	※2・																			
○電子データ	外部(5)内部(5)	※2・	※200万画素以上 ※300dpi以上																			
1章 一般仕様事項	<p>④工事実績情報登録</p> <p>①建築基準法の風圧</p> <p>○積雪に対する性能</p> <p>③電気保安技術者</p> <p>⑤施工条件</p> <p>3.11 発生土の処理等</p> <p>④使用材料</p> <p>⑥化学物質の濃度測定</p>		<p>登録: ○適用 ・不適用</p> <p>基準風速: ○$V_o=32$ (m/s) 平成12年建告第1454号</p> <p>地表相湿度区分: ・Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ</p> <p>積雪の単位荷重: 20N/㎡以上</p> <p>垂直積雪量: 0.5m</p> <p>技術者の適用: ○適用する ・適さない</p> <p>施工順序等の制約: ・無し ○有り ○現場説明書による ・図示 ・ 工事車両の駐車場所: ・図示 ○現場説明書による ・ 資材、機材置場: ・図示 ○現場説明書による ・ 発生土仮置場: ・図示 ○現場説明書による ・ その他の施工条件: ・図示 ○現場説明書による ・</p> <p>・発注者への引渡発生土:</p> <p>○特別管理産業廃棄物:</p> <p>○リサイクル発生土:</p> <p>○仮設材以外の全ての建築材料(仕上材、下地材、副資材)のホルムアルデヒド放散量はJIS等の材料規格において放散量が規定されている場合は原則としてF☆☆☆☆とする。但し使用予定材料にF☆☆☆☆が存在しない場合は監督員と協議のうえ決定する。</p> <p>濃度測定: ○未実施 ・実施</p> <p>化学物質濃度を下記のとおり測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し報告すること。</p> <p>測定対象物質: ・ホルムアルデヒド ・トルエン ・キシレン ・エチルベンゼン ・スチレン ・図示 ・</p> <p>測定方法: ・簡易法 ・パッシブ型採取機器 ・測定バッジ;</p> <p>測定対象室: ・図示 ・</p> <p>測定箇所数: ・図示 ・箇所</p> <p>・厚生労働省の標準的測定方法による場合の測定者は、環境計量証明事業所として登録を行っている者、又は作業環境測定事業所の有機溶剤の登録を行っている者とする。</p>	<p>③監督員事務所、受注者事務所等</p> <p>③*工事用水</p> <p>③*工事電力</p> <p>③仮囲い</p> <p>③*落下物、飛散物等による危害防止</p> <p>③*洗車設備</p> <p>3.* 仮排水</p>	<p>監督員事務所の設置: ・必要 ○不要</p> <p>受注者事務所の設置: ・必要 ○不要</p> <p>構内既存の施設: ○利用できない ・利用できる【・有償 ・無償】</p> <p>構内既存の施設: ○利用できない ・利用できる【・有償 ・無償】 ・動力以外利用できる【・有償 ・無償】</p> <p>○図示</p> <p>・工事現場からの落下物、飛散物による危害防止は下記又は同等以上の措置をする。</p> <p>・防護鉄網 ○防護シートの防護柵 ・防音シート ・防音パネル</p> <p>・その他:</p> <p>・洗車ピット(幅3m×長さ5m厚さ20cm 程度の土間コンクリート、給排水設備共)</p> <p>○洗車装置(高圧洗浄装置程度) ・</p> <p>・既設排水溝や排水管、会所等の撤去時には、仮設の排水設備を設け、排水上支障のないようにする。</p>		<p>5.1 適用範囲</p> <p>5.3 材料その他</p> <p>5.4 アースリル工法/リハース工法/オールケーシング工法</p> <p>5.5 場所打鋼管コンクリート杭工法、括底杭工法</p>	<p>杭の設計支持力: ・図示 ・</p> <p>施工法の種類: ・図示 ・</p> <p>プレボーリングの掘削深さ及び径: ・図示 ・深さ: m 径: m</p> <p>試験杭の推定支持力の算定方法: ・図示 ・</p> <p>杭の支持地盤への根入れ深さ: ・図示 ・</p> <p>杭の水平方向の位置精度: ・図示 ・100mm以内 ・</p> <p>支持地盤の位置、種類: ・図示 ・</p> <p>アースオーガーの支持地盤への掘削深さ: ・図示 ・</p> <p>杭の支持地盤への根入れ深さ: ・図示 ・</p> <p>杭の水平方向の位置精度: ・図示 ・100mm以内 ・</p> <p>施工法の種類: ・図示 ・</p> <p>杭の水平方向の位置精度: ・図示 ・100mm以内 ・</p> <p>支持地盤の位置、種類: ・図示 ・</p> <p>杭の継手の工法: ・アーク溶接 ・無溶接継手(工法:)</p> <p>杭頭処理法: ・図示 ・</p> <p>5. 現場打ちコンクリート杭地業</p> <p>工法の適用: ・アースリル工法(4.5.4) ・リハース工法(4.5.4) ・オールケーシング工法(4.5.4) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法(4.5.5) ・括底杭工法(4.5.5) ・図示</p> <p>帯筋の加工、組立: ・図示 ・</p> <p>鉄筋の最小かぶり厚さ: ・図示 ・60mm ・ mm</p> <p>セメントの種類: ・普通ポルトランドセメント ※高炉セメントB種 ・混合セメント ・図示</p> <p>コンクリートの設計基準強度: ・$F_c=21\text{N/mm}^2$ ・$F_c=24\text{N/mm}^2$ ・図示</p> <p>コンクリートの種別: ・A種 ・B種 ・図示</p> <p>コンクリートの構造体強度補正值(S): ・図示 ※3N/mm ・</p> <p>支持地盤の位置、種類: ・図示 ・</p> <p>杭孔壁の超音波測定: ・行なわない ・行う(</p> <p>杭の水平方向の位置精度: ・図示 ・100mm以内 ・</p> <p>杭の水平方向の位置精度: ・図示 ・100mm以内 ・</p> <p>6. 砂利、砂、捨てコンクリート地業等</p> <p>砂利及び砂地業の厚さ: ・図示 ※60mm ・100mm ・120mm ・150mm ○50mm</p> <p>捨てコンクリートの厚さ: ・図示 ○50mm ・ mm ・120mm ・150mm ・</p> <p>床下防湿層の適用: ・適用しない ・適用する ○図示(防湿ポリエチレンフィルムt0.1)</p> <p>床下防湿層の範囲: ・図示 ○全て</p> <p>○現場発生土を再利用する。 改良方法 ○図示</p> <p>セメント及びセメント系固着材を使用した改良土を使用する場合、六価クロム溶出試験を実施し、土壌環境基準を勘案して必要に応じ適切な措置を講ずること。 また、再利用しようとする場合は、基準以下であることを確認すること。 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」((一財)日本建築セツ)を参考とすること。 なお、試験方法は、セメント及びセメント系固着材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。</p>														
		<p>⑥設計図</p> <p>⑦1完成時の提出図書</p> <p>⑦2完成図</p> <p>⑦3保全に関する資料</p>		<p>②埋戻し及び盛土</p> <p>②建設発生土の処理</p>	<p>○本章の事項で ○印の無いものは構造特記仕様書による</p> <p>2. 試験及び報告書</p> <p>試験杭の位置、本数、載荷荷重: ・図示 ・</p> <p>載荷試験: ・水平試験 ・鉛直試験 ・</p> <p>試験杭の位置、本数、載荷荷重: ・図示 ・</p> <p>試験方法: ・図示 ・</p> <p>試験報告書の記載事項等: ・図示 ・</p> <p>載荷試験: ・平板載荷試験 ・</p> <p>試験の位置、載荷荷重: ・図示 ・</p> <p>試験方法: ・図示 ・</p> <p>試験報告書の記載事項等: ・図示 ・</p> <p>3. 既製コンクリート杭地業</p> <p>工法の適用: ・打込み工法(4.3.3) ・セメントミルク工法(4.3.4) ・特定埋設杭工法(4.3.5) ・図示</p> <p>材料の強度等による区分: ・</p> <p>杭の寸法、継ぎ手の箇所数、杭先端形状: ・図示 ・</p>		<p>①鉄筋工事</p> <p>2.1 鉄筋</p> <p>2.2 溶接金網</p> <p>3.4 継手及び定着</p> <p>3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔</p>	<p>○本章の事項は構造特記仕様書による</p> <p>2. 材料</p> <p>鉄筋の種類: ・SR295 ・SD295A ・SD295B ・SD345 ・SD390 ・図示 ・</p> <p>溶接金網の寸法、径: ・φ6x150x150 ・φ6x100x100 ・φ4.5x50x50 ・図示 ・</p> <p>継手の種類: ・重ね継手 ・ガス圧接継手 ・機械継手 ・溶接継手</p> <p>継手の位置: ・図示 ・</p> <p>柱主筋の重ね継手長さ: ・40d(50d) ・図示 ・</p> <p>梁主筋の重ね継手長さ: ・40d(50d) ・図示 ・</p> <p>耐力壁鉄筋の重ね継手長さ: ※40d(50d) ・図示 ・</p> <p>先組み工法等の継手の位置: ・図示 ・</p> <p>鉄筋の定着長さ: ・標準仕様書表5.3.4iによる ・図示 ・</p> <p>土に接する柱、梁、スラブ及び壁の鉄筋のかぶり厚さ(軽量コンクリートの場合): ・図示 ・40mm ・50mm ・60mm ・</p> <p>塩害を受ける恐れのある部分等の鉄筋のかぶり厚さ: ・図示 ・</p> <p>特殊な鉄筋継手のあき寸法: ・図示 ・</p>														

新庁舎整備事業 倉庫I 建設工事					発注者	設計者
KT1-A004			E:発 建築工事 特記仕様書I		B:発	
			H:発 -			日付 2019.02
一級建築士事務所第12399号(有)香山壽夫建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F					一級建築士第65408号 佐伯和俊	
構造:一級建築士事務所 東京都知事登録第56306号 株式会社 KAP					一級建築士第341678号(構造設計一級建築士第9490号) 荻生田勇之	

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項				
7章 鉄骨工事	8.3 塗料の種類	耐火被覆材の接着面：・図示 ・標準仕様書 表18.3.1【・A種 ・B種 ・C種】・	9章 防水工事	1.* 防水工事の保証書の提出、保証年限	・保証書(請負人、材料製造所、防水施工者の連帯保証)は各2通提出すること。 ・防水施工者は、防水材料製造所指定の施工者とし、監督員の承諾を受ける。	9章 防水工事	2.4 施工	立上りコンクリートの仕上の種別：・A種 ・B種 ・C種 ・ 防水立上がり端部押さえ金物：・使用する ・使用しない				
	9.2 耐火被覆の種類及び性能	耐火被覆材の種類及び性能：※図示 ・		保証書提出工事	保証箇所		保証年限	2.5 保護層等の施工	立上がり部の保護：・コンクリート押え ・れんが押え ・モルタル押え ・乾式保護材 ・アルミ水切り金物押え			
	10.3 アンカーボルト等の設置	10. 工事現場施工 構造用アンカーボルトの適用：・適用する ・適用しない 建方用アンカーボルトの適用：・適用する ・適用しない 構造用アンカーボルトの形状及び寸法：・図示 ・ 構造用アンカーフレームの形状及び寸法：・図示 ・ アンカーボルトの保持及び埋込み工法の種別：・A種 ・B種 ・C種 柱底均しモルタルの厚さ：・図示 ・ 柱底均しモルタルの工法の種別：※A種 ・B種		・アスファルト防水			※10年 ・年 ※10年 ・年 ※10年 ・年 ※10年 ・年	3.2 材料	伸縮調整目地 ：・図示 ・ 屋上排水溝 ：・適用 ・適用しない			
	11.2 施工	11. 軽量形鋼構造 ボルトの接合方法：・図示 ・		・改質アスファルトシート防水			※10年 ・年 ※10年 ・年	2.3 防水層の種類、種別及び工程	3. 改質アスファルトシート防水 改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ： ※標準仕様書9.3.1～9.3.3による ・図示 ・ 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ： ◎屋根露出防水絶縁断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.3.2(c)(2) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示 ※標準仕様書表9.3.1～9.3.3による ・図示 ・			
	12.4 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合	12. 溶融亜鉛めっき工法 摩擦面の処理：・プラスト処理 ・りん酸塩処理等 りん酸塩処理等の場合の摩擦面のすべり耐力等の確認方法：・図示 ・		・合成高分子ルーフィング防水			※10年 ・年		種類	種別	施工箇所	
8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	2.2 材料	2. 補強コンクリートブロック造 ブロックの種類：※空洞ブロック16 ・空洞ブロック16-W	2.2 材料	2. アスファルト防水	水張り試験：・行う ・行わない	2.3 防水層の種類、種別及び工程	4.2 材料	4. 合成高分子ルーフィングシート防水 種類：・加流ゴム系 ・塩化ビニル樹脂系 ・熱可塑性エラストマー系 ◎固定金具 材質：※防錆処理鋼板 ※ステンレス鋼板 ※樹脂被覆鋼板 厚さ：・0.4mm以上 ・0.8mm以上 ・ ◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示 絶縁シートの種類及び厚さ：※標準仕様書表9.4.1及び9.4.2による ・図示 ・	種類	種別	施工箇所	
	2.4 コンクリートの調合	設計基準強度(Fc)：※21N/mm ² ・18N/mm ² ・		試験箇所：・3階屋上部分、階段室2(R階部分)	◎屋根保護防水断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.2.3～9.2.8による ・図示 ・							・露出防水密着
	2.5 鉄筋の加工、組立	各部の配筋：・図示 ・		◎屋根露出防水断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.2.5～9.2.8による ・図示 ・	試験方法：※ドレイン廻りをルーフィング類やウエス類で仮の蓋をし、防水層の立上り端部を越えないように水を張り、24時間以上そのままにしておいた後、周辺や階下への漏れの有無を確認する。		部分粘着層付改質アスファルトルーフィングの種類及び厚さ： ※標準仕様書表9.2.9～9.2.11による ・図示 ・	・露出防水絶縁	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J2 ・ASI-T1 ・ASI-J1			
	3.2 材料	3. コンクリートブロック帳壁及び塀 ブロックの種類：※標準仕様書表8.3.1による ・図示 化粧ブロック：t=		◎屋根保護防水断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.2.2(h) ・ 厚さ：・35mm ・25mm ・図示	?		◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.2.2(i) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?	◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	・S-F1 ・S-F2	※1.2 ※2.0 ・	
	3.3 鉄筋の加工、組立	各部の配筋：・図示 ・		◎屋根露出防水断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.2.2(j) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?		◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?	◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	・S-M1 ・S-M1 ・S-M3	※1.5 ※1.2 ・	
	4.2 材料	4. ALCパネル		◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.2.2(k) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?		◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?	◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	・SI-F1 ・SI-F2	※1.2 ※2.0 ・	
	4.3 外壁パネル工法	取付け工法種別：・A種 ・B種 パネル幅の最小限度：※300mm ・400mm 伸縮調整目地巾：・図示 ・10mm ・15mm ・20mm 耐火目地材：・有 ・無 ・		◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.2.2(l) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?		◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?	◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	・SI-M1	※1.5 ・	
	4.4 間仕切パネル工法	取付け工法種別：・C種 ・D種 ・E種		◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.2.2(m) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?		◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?	◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	・SI-M2	※1.5(立上り共) ・	
	5.2 材料	5. 押出成形セメント板(ECP) 使用箇所：・外壁用 表面形状：・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル 厚み寸法：・50mm ・60mm ・ 使用箇所：・間仕切壁用 表面形状：・フラットパネル ・デザインパネル ・タイルベースパネル 厚み寸法：・50mm ・60mm ・		◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.2.2(n) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?		◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?	◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	・S-C1	※1.0 ・	
	5.3 外壁パネル工法	取付け工法種別：・A種 ・B種 パネル相互間目地幅：・15mm(短辺)8mm(長辺)以上 ・ 耐火構造以外の目地及び隙間の処理：※製造メーカー仕様による ・		◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.2.2(o) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?		◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?	◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	・S-F1 ・S-F2	※1.2 ※2.0 ・	
5.4 間仕切パネル工法	取付け工法種別：・B種 ・C種	◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.2.2(p) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?	◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?	◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	・S-M1 ・S-M1 ・S-M3	※1.5 ※1.2 ・				
5.5 溝掘り及び開口部の処置	パネルの開口部の限度：・製造メーカー基準による ・短辺： mmx長辺： mm以下 パネルの欠込みの限度：・製造メーカー基準による ・短辺： mmx長辺： mm以下	◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.2.2(q) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?	◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	?	◎断熱工法の断熱材 材質：※標準仕様書9.4.2(3) ・ 厚さ：・50mm ・35mm ・図示	・SI-F1 ・SI-F2	※1.2 ※2.0 ・				
			2.3 防水層の種類、種別及び工程	防水層立上り部の保護の種類： ・乾式保護 ・湿式保護【・図示 ※普通れんが(JIS R1250) ・タラス ・ 】			4.3 防水層の種類、種別及び工程	種類	種別	施工箇所		
			2.4 施工	立上がり部の保護コンクリートの適用：・適用する ・適用しない			4.4 施工	5.3 防水層の種類、種別及び工程	種類	種別	施工箇所	
				工法：・	◎脱気装置 種類：※製造メーカー指定 ・ 設置数量：※製造メーカー指定 ・ 屋内防水部分の保護層：・設ける ・設けない							
				◎防水層下地 下地モルタル塗り：・適用する ・適用しない 適用箇所： ルーフトレン廻りの断熱材の張仕舞い位置：・製造メーカー推奨による ・図示					・ゴムアスファルト系 ・アクリルゴム系			

新庁舎整備事業 倉庫 I 建設工事		■
KT1-A006		■
建築工事 特記仕様書3		
発行 2019.02		
一級建築士事務所第12399号(有)香山壽夫建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F	一級建築士第65408号 佐伯和俊	
構造：一級建築士事務所 東京都知事登録第56306号 株式会社 KAP	一級建築士第341678号(構造設計一級建築士第9490号) 萩生田秀之	

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項								
9章 防水工事	5.3 防水層の種類、種別及び工程	◎脱気装置 種類：※製造メーカー指定・ 設置数量：※製造メーカー指定・ 保護層：・設置する・設置しない	10章 石工事	3.2 材料	ドレンパイプ：・SUS304パイプ・硬質塩ビパイプ・ 金物固定充填材：※標準仕様書による・ 3. 外壁湿式工法 石材の厚さ：・図示 ※25mm以上・13mm・ 石裏面処理：・行う・行わない 裏打ち処理：・行う・行わない 下地ごしらえ：※標準仕様書による・ 目地幅：・図示 ※6mm以上・ 伸縮目地位置：・図示 ※標準仕様書による・ 伸縮目地寸法：・図示 ※標準仕様書による・15mm・20mm・	11章 タイル工事	2.2 材料	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない								
	6.1 適用範囲	6. ケイ酸質系塗布防水							3.3 施工	4. 内壁空積工法 石材の厚さ：・図示 ※20mm以上・13mm・ 裏打ち処理：・行う・行わない 下地ごしらえ：※あと施工アンカー横筋流し工法・あと施工アンカー工法・ 目地幅：・図示 ※6mm以上・ 伸縮目地位置：・図示 ※標準仕様書による・ 伸縮目地寸法：・図示 ※標準仕様書による・15mm・20mm・	2.7 施工	◎壁タイル張り 内装タイルの工法：・改良積上げ張り・ 外装タイルの工法：・密着張り・改良積上げ張り・改良圧着張り 内装以外のユニットタイルの工法：・マスク張り・モザイクタイル張り 3. 接着剤による陶磁器質タイル張り タイルの種類等：・図示・下表による・				
	6.2 材料	6. シーリング シーリング保証書：○提出する・提出しない ○保証書(請負人、材料製造所、シーリング施工者連帯保証)は各2通提出すること。 ノンブリードタイプシーリング材の適用：※使用する・使用しない 施工箇所：・ホリウレタン系シーリングで仕上げありの部位							4.2 材料	5. 乾式工法 石材の厚さ：・図示 ※25mm以上・13mm・ ダボアナの位置：※標準仕様書による・ 石裏面処理：・行う・行わない 裏打ち処理：・行う・行わない 外壁に採用する場合の工法：・ 目地幅：・図示 ※8mm以上・			3.2 材料	3. 接着剤による陶磁器質タイル張り タイルの種類等：・図示・下表による・		
	6.4 施工	7. シーリング材の種類							4.3 施工	6. 床及び階段の石張り 石材の厚さ：・図示 ※25mm以上・13mm・ 石裏面処理：・行う・行わない 目地幅：・図示 ※標準仕様書による・ねむり目地～3mm					3.2 材料	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない モルタル塗りコンクリート素地面：・素肌・MCR工法・目荒し工法(高圧水洗) ◎壁タイル張り 内装タイルの工法：・内装タイル接着剤張り・ 外装タイルの工法：・外装タイル接着剤張り・ 内装以外のユニットタイルの工法：・外装タイル接着剤張り・ 4. 陶磁器質タイル型枠先付け タイルの種類等：・図示・下表による・
	⑦保証年限	⑦⑤シーリング材の試験							5.3 施工	7. 特殊部位の石張り 取付け工法：・図示・外壁湿式工法・内壁空積工法・乾式工法・						
⑦②材料	⑦⑤シーリング材の試験	6.2 床の石張り	7.2 アーチ、上裏等の石張り 石材の厚さ：・図示・25mm・ 石裏面処理：・行う・行わない 裏打ち処理：・行う・行わない 目地幅：・図示 ※6mm以上・ 伸縮目地の位置：・図示 ※標準仕様書による・	4.3 材料	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない タイル型枠のせき板材料：※標準仕様書による・ 小口タイル：・タイルシート法・目地樹法・ 二丁掛タイル：・タイルシート法・目地樹法・ 大形タイル：・積木法・											
⑦⑤シーリング材の試験	⑦⑤シーリング材の試験	6.3 階段の石張り	7.3 笠木、甲板等の石張り 石材の厚さ：・図示・25mm・ 石裏面処理：・行う・行わない 乾式工法取付け代：・図示 ※標準仕様書による・ 石裏面の補強用モルタル：・適用する・適用しない 石材の厚さ：・図示 ※40mm・			4.3 タイル型枠先付の種類	◎タイルの役物 使用箇所：・出隅・入隅・幅木・まぐさ・窓台 製造方法：・接着成型品・一体成型品 タイルの見本焼き：・行う・行わない タイルの試験張り：・行う・行わない タイル型枠のせき板材料：※標準仕様書による・ 小口タイル：・タイルシート法・目地樹法・ 二丁掛タイル：・タイルシート法・目地樹法・ 大形タイル：・積木法・									
10章 石工事	1.3 施工一般	7.4 隔て板	11章 タイル工事					2.2 材料	1. 一般事項 ○本章の事項において○印の無い項目および構造材に関する内容は構造特記仕様書による ○木材に関する取扱いは、本設計図書に添付する「施工者向け指示書・支給木材特記事項」に記載する内容を十分に理解したうえで工事の受注および施工を行うこと。							
1.5 清掃	2.1 石材	2.2 取付け金物	2.2 材料					2.2 材料	2.2 材料	見え掛り面の表面仕上げの適用箇所、種類：・図示・下表による						
2.1 石材	2.2 取付け金物	2.3 その他材料	2.2 材料					2.2 材料	2.2 材料	適用箇所	種類					
2.2 取付け金物	2.3 その他材料	2.3 その他材料	2.2 材料	2.2 材料	2.2 材料			開口部額縁 建具枠・笠木 ・ブライドボックス・カーテンボックス ・飾り柱・格子・カウンター天板・衝立 ・棚板 ・梯子	・A種・B種・C種 ・A種・B種・C種 ・A種・B種・C種 ・A種・B種・C種 ・A種・B種・C種							

新庁舎整備事業 倉庫 I 建設工事		E. 建築工事 特記仕様書4		2019.02		一級建築士事務所第12399号(有)香山壽夫建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 一級建築士第65408号 佐伯和俊	
KT1-A007		一級建築士事務所 東京都知事登録第56306号 株式会社 KAP		一級建築士第341678号(構造設計一級建築士第9490号) 荻生田勇之			

章	項目	特記事項																																											
12章 木工事	2.1 木 材	2. 材 料 木材(下地材)の含水率：※A種・B種 木材(造作材)の含水率：※A種・B種 代用樹種を適用しない箇所：・ ◎製材 ◇JASによる下地用針葉樹製材：・下表による(寸法は図示)・図示・ <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>区分等級</th> <th>含水率</th> <th>仕上げ</th> <th>防腐防蟻処理</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全般</td> <td>桧</td> <td>・1級</td> <td>SD15</td> <td>サンダー</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>杉</td> <td>※2級</td> <td>SD20</td> <td>サンダー</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D15</td> <td>プレーナー</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>D20</td> <td>プレーナー</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備 考	全般	桧	・1級	SD15	サンダー	なし			杉	※2級	SD20	サンダー	なし					D15	プレーナー	なし					D20	プレーナー	なし									
	使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備 考																																						
	全般	桧	・1級	SD15	サンダー	なし																																							
		杉	※2級	SD20	サンダー	なし																																							
				D15	プレーナー	なし																																							
				D20	プレーナー	なし																																							
			◇JASによる造作用針葉樹製材：・下表による(寸法は図示)・図示・ <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>化粧等級</th> <th>含水率</th> <th>仕上げ</th> <th>防腐防蟻処理</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>窓枠</td> <td>ナラ</td> <td>無節</td> <td>SD15</td> <td>サンダー</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>床仕上げ板</td> <td>杉</td> <td>※上小節</td> <td>SD18</td> <td>サンダー</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カーテンボックス</td> <td>桧</td> <td>※小節</td> <td>D15</td> <td>プレーナー</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>段板</td> <td></td> <td>並</td> <td>D18</td> <td>プレーナー</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>巾木</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	樹種	化粧等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備 考	窓枠	ナラ	無節	SD15	サンダー	なし		床仕上げ板	杉	※上小節	SD18	サンダー	なし		カーテンボックス	桧	※小節	D15	プレーナー	なし		段板		並	D18	プレーナー	なし		巾木						
	使用部位	樹種	化粧等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備 考																																						
	窓枠	ナラ	無節	SD15	サンダー	なし																																							
	床仕上げ板	杉	※上小節	SD18	サンダー	なし																																							
	カーテンボックス	桧	※小節	D15	プレーナー	なし																																							
	段板		並	D18	プレーナー	なし																																							
巾木																																													
		◇JASによる広葉樹製材：・下表による(寸法は図示)・図示・ <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>区分等級</th> <th>含水率</th> <th>仕上げ</th> <th>防腐防蟻処理</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全般</td> <td>ケヤキ</td> <td>特等</td> <td>D10</td> <td>サンダー</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ナラ</td> <td>※1等</td> <td>D13</td> <td>プレーナー</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2等</td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備 考	全般	ケヤキ	特等	D10	サンダー	なし			ナラ	※1等	D13	プレーナー	なし				2等			なし																
使用部位	樹種	区分等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備 考																																							
全般	ケヤキ	特等	D10	サンダー	なし																																								
	ナラ	※1等	D13	プレーナー	なし																																								
		2等			なし																																								
		◇JAS以外の製材：・下表による(寸法は図示)・図示・ <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>樹種</th> <th>材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>寸法</th> <th>防腐防蟻処理</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>桧</td> <td>※A種</td> <td>15%</td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>杉</td> <td>B種</td> <td>18%</td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>松</td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	樹種	材面の品質	含水率	寸法	防腐防蟻処理	備 考		桧	※A種	15%	図示				杉	B種	18%	図示				松		20%																		
使用部位	樹種	材面の品質	含水率	寸法	防腐防蟻処理	備 考																																							
	桧	※A種	15%	図示																																									
	杉	B種	18%	図示																																									
	松		20%																																										
		◎造作用集成材 ◇JASによる造作用集成材：・下表による(寸法は図示)・図示・ <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>仕上げ</th> <th>樹種</th> <th>見付材</th> <th>区分等級</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>仕上有</td> <td></td> <td>1面</td> <td>※1等</td> <td>1等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>未仕上</td> <td></td> <td></td> <td>2等</td> <td>2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗装</td> <td></td> <td>4面</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	仕上げ	樹種	見付材	区分等級	備 考		仕上有		1面	※1等	1等		未仕上			2等	2等		塗装		4面																					
使用部位	仕上げ	樹種	見付材	区分等級	備 考																																								
	仕上有		1面	※1等	1等																																								
	未仕上			2等	2等																																								
	塗装		4面																																										
		◇JASによる化粧ばり造作用集成材：・下表による(寸法は図示)・図示・ <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>仕上げ</th> <th>樹種</th> <th>見付材</th> <th>区分等級</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>仕上有</td> <td></td> <td>1面</td> <td>※1等</td> <td>1等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>未仕上</td> <td></td> <td></td> <td>2等</td> <td>2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗装</td> <td></td> <td>4面</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	仕上げ	樹種	見付材	区分等級	備 考		仕上有		1面	※1等	1等		未仕上			2等	2等		塗装		4面																					
使用部位	仕上げ	樹種	見付材	区分等級	備 考																																								
	仕上有		1面	※1等	1等																																								
	未仕上			2等	2等																																								
	塗装		4面																																										
		◇JASによる化粧ばり構造用集成柱：・下表による(寸法は図示)・図示・ <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>強度等級</th> <th>樹種</th> <th>見付材</th> <th>区分等級</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>E190-F615</td> <td></td> <td>1面</td> <td>1等</td> <td>1等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>E105-F345</td> <td></td> <td></td> <td>2等</td> <td>2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>E65-F255</td> <td></td> <td>4面</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	強度等級	樹種	見付材	区分等級	備 考		E190-F615		1面	1等	1等		E105-F345			2等	2等		E65-F255		4面																					
使用部位	強度等級	樹種	見付材	区分等級	備 考																																								
	E190-F615		1面	1等	1等																																								
	E105-F345			2等	2等																																								
	E65-F255		4面																																										
		◇JAS以外の造作用集成材：・下表による(寸法は図示)・図示・ <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>仕上げ</th> <th>樹種</th> <th>見付材</th> <th>区分等級</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>仕上有</td> <td></td> <td>1面</td> <td>1等</td> <td>※15%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>未仕上</td> <td></td> <td></td> <td>2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗装</td> <td></td> <td>4面</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	仕上げ	樹種	見付材	区分等級	含水率		仕上有		1面	1等	※15%		未仕上			2等			塗装		4面																					
使用部位	仕上げ	樹種	見付材	区分等級	含水率																																								
	仕上有		1面	1等	※15%																																								
	未仕上			2等																																									
	塗装		4面																																										

章	項目	特記事項																									
12章 木工事		◇JAS以外の化粧ばり造作用集成材：・下表による(寸法は図示)・図示・ <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>仕上げ</th> <th>樹種</th> <th>見付材</th> <th>区分等級</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>仕上有</td> <td></td> <td>1面</td> <td>1等</td> <td>1等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>未仕上</td> <td></td> <td></td> <td>2等</td> <td>2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>塗装</td> <td></td> <td>4面</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	仕上げ	樹種	見付材	区分等級	含水率		仕上有		1面	1等	1等		未仕上			2等	2等		塗装		4面			
	使用部位	仕上げ	樹種	見付材	区分等級	含水率																					
		仕上有		1面	1等	1等																					
		未仕上			2等	2等																					
		塗装		4面																							
			◇JAS以外の化粧ばり構造用集成柱：・下表による(寸法は図示)・図示・ <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>強度等級</th> <th>樹種</th> <th>見付材</th> <th>区分等級</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>E190-F615</td> <td></td> <td>1面</td> <td>1等</td> <td>1等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>E105-F345</td> <td></td> <td></td> <td>2等</td> <td>2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>E65-F255</td> <td></td> <td>4面</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	強度等級	樹種	見付材	区分等級	含水率		E190-F615		1面	1等	1等		E105-F345			2等	2等		E65-F255		4面		
	使用部位	強度等級	樹種	見付材	区分等級	含水率																					
		E190-F615		1面	1等	1等																					
		E105-F345			2等	2等																					
		E65-F255		4面																							
			◎造作用単板積層材 ◇JASによる造作用単板積層材：・下表による(寸法は図示)・図示・ <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>仕上げ</th> <th>表面の品質</th> <th>防腐防蟻処理</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>仕上有</td> <td>1等</td> <td>なし</td> <td>天然木化粧加工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>仕上有</td> <td>2等</td> <td></td> <td>塗装加工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>未仕上</td> <td>3等</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	備 考		仕上有	1等	なし	天然木化粧加工		仕上有	2等		塗装加工		未仕上	3等						
	使用部位	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	備 考																						
	仕上有	1等	なし	天然木化粧加工																							
	仕上有	2等		塗装加工																							
	未仕上	3等																									
		◇JAS以外の造作用単板積層材：・下表による(寸法は図示)・図示・ <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>含水率</th> <th>仕上げ</th> <th>表面の品質</th> <th>防腐防蟻処理</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※14%</td> <td>仕上有</td> <td>1等</td> <td>なし</td> <td>天然木化粧加工</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>仕上有</td> <td>2等</td> <td></td> <td>塗装加工</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>未仕上</td> <td>3等</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	含水率	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	備 考		※14%	仕上有	1等	なし	天然木化粧加工			仕上有	2等		塗装加工			未仕上	3等			
使用部位	含水率	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	備 考																						
	※14%	仕上有	1等	なし	天然木化粧加工																						
		仕上有	2等		塗装加工																						
		未仕上	3等																								
		◎床張り用合板等 ◇JASによる普通合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>表板樹種名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>等級・処理・寸法等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>ラワン</td> <td>※5.5</td> <td>※1類</td> <td>※2等</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>シナ</td> <td>9</td> <td>2類</td> <td>1等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>12</td> <td></td> <td>※C-D</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	表板樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	等級・処理・寸法等		ラワン	※5.5	※1類	※2等	・図示		シナ	9	2類	1等				12		※C-D		
使用部位	表板樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	板面の品質	等級・処理・寸法等																						
	ラワン	※5.5	※1類	※2等	・図示																						
	シナ	9	2類	1等																							
		12		※C-D																							
		◇JASによる構造用合板 <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>表板樹種名</th> <th>等級</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>処理・寸法等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外壁・内壁耐力壁</td> <td>針葉樹</td> <td>1級</td> <td>特類</td> <td>A-B</td> <td>F☆☆☆☆/防虫処理材</td> </tr> <tr> <td>各室床下地捨て張り</td> <td>シナ</td> <td>2級</td> <td>1類</td> <td>B-C</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ナラ</td> <td></td> <td></td> <td>D-D</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	表板樹種名	等級	接着の程度	板面の品質	処理・寸法等	外壁・内壁耐力壁	針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材	各室床下地捨て張り	シナ	2級	1類	B-C			ナラ			D-D		
使用部位	表板樹種名	等級	接着の程度	板面の品質	処理・寸法等																						
外壁・内壁耐力壁	針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材																						
各室床下地捨て張り	シナ	2級	1類	B-C																							
	ナラ			D-D																							
		◇パーティクルボード <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>曲げの区分</th> <th>接着の区分</th> <th>難燃性区分</th> <th>等級・処理・寸法等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※15</td> <td></td> <td></td> <td>※13P/M</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>18</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	使用部位	厚さ(mm)	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	等級・処理・寸法等		※15			※13P/M	・図示		18											
使用部位	厚さ(mm)	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	等級・処理・寸法等																						
	※15			※13P/M	・図示																						
	18																										
		◇構造用パネル 曲げ等級：・1級・2級・3級・4級 厚み：・図示・25mm・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量：※F☆☆☆☆・F☆☆☆・ 樹種：・ナラ・ケヤキ・サクラ・クリ・シロジ・ 使用箇所：・ 種別：・真物・貼物 樹種：・ 使用箇所：・ 3. 防腐・防蟻・防虫処理 ◎薬剤の加圧注入による処理 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>性能区分</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・K2・K3・K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2・K3・K4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	性能区分	備 考		・K2・K3・K4			・K2・K3・K4																	
施工箇所	性能区分	備 考																									
	・K2・K3・K4																										
	・K2・K3・K4																										
2.1 木レンガ																											
2.* 堅 木																											
2.* 銘 木																											
3.1 防腐・防蟻処理																											

章	項目	特記事項
12章 木工事	3.1 防腐・防蟻処理	薬剤の塗布による防腐・防蟻処理の方法：※標準仕様書による・ 原料接着剤への薬剤混入による防腐・防蟻処理の方法：・図示・
	4.1 木 材	4. 鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び床組 間仕切軸組の木材の樹種：※杉 ※松・ 土間スラブ以外の床組木材の樹種：※杉 ※松・ 土間スラブ上の床組木材の樹種：※桧 ※保存処理木材・
	⑤.1 木 材	5. 窓、出入口その他 吊元枠、水掛りの下枠、敷居の木材の樹種：◎桧 ◎杉 上記以外の木材の樹種：※杉 ※松・
	6.1 木 材	6. 床板張り 縁甲板、上がり框の木材の樹種：※桧・
	⑦.1 木 材	7. 壁及び天井下地 木材の樹種：◎杉 ※松・
	②.2 材 料	2. 長尺金属板葺 材種：◎塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板材種 ・塗装ステンレス鋼板・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ 板厚：◎4mm・0.6mm・0.8mm・ 下葺材料：◎アスファルト-フイグ940・ ・改質アスファルト-フイグ【・一般タイプ・複層基材タイプ・粘着層付タイプ】
	2.3 工 法	屋根葺形式：・心木なし瓦葺葺・立はげ葺・平葺 ◎瓦葺葺 雪止め：・設置する ◎設置しない
	3.2 材 料	3. 折板葺 材種：※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板材種 ・塗装ステンレス鋼板・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ 板厚(mm)：・1.0・0.8・0.6・ 山高(mm)：・90・150・180・ 軒先面戸板：・有・無 断熱材張り：・無・有(材種等)；
	3.3 工 法	形式による区分：・重ね形又ははげ締め形・
	4.2 材 料	4. 粘土瓦葺 種類：・和瓦・洋瓦・ 区分：・釉薬瓦・塩焼瓦 大きさ：・53形・64形・ 産地：・石州・淡路・三州・ 役物瓦：・図示・ ・軒先瓦() ・棟瓦() ・鬼瓦() ・隅鬼瓦() 雪止瓦：・使用する・使用しない 瓦棧の材質：※杉又は桧・杉・桧・ 瓦棧の寸法：※21mm(W)x15mm(H)・30mm(W)x18mm(H)・
	4.3 工 法	瓦棧木の留付け工法：※標準仕様書による・ 棟の工法：・
	5.2 材 料	5. と い 軒どいの材質：・アスファルト被覆鋼板・耐候性被覆鋼板 ◎塗装溶融55%アルミニウム 縦どいの材質：・配管用鋼管・硬質塩化ビニル管【・カラー・】 ◎塗装溶融55%アルミニウム 掃除口：・有 (無)

新庁舎整備事業 倉庫 I 建設工事		■	
KT1-A008		5.特	建築工事 特記仕様書5
		図付	2019.02
一級建築士事務所第12399号(有)香山壽夫建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F		一級建築士第65408号 佐伯和俊	
構造：一級建築士事務所 東京都知事登録第56306号 株式会社 KAP		一級建築士第341678号(構造設計一級建築士第9490号) 萩生田勇之	

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
13章 屋根及びびい工事	5.2 材 料	飾り樹：・塩ビ製 ・銅板製 ・ とい受け金物：○ステンス製 ○亜鉛めっき銅板製 ・ ルーフトレイン：・ステンス製 ・錆鉄製 ・アルミニウム製	14章 金属工事	8.2 材 料	8. 手すり及びタラップ 種類 材 種 表面処理の種別 ・手すり ・アルミニウム ・A-1 ・A-2 ・ ・タラップ ・鋼 亜鉛めっきの場合 ・ステンス鋼 ・14.2.2のC種 ・No.2B ・	15章 左官工事	5.2 材 料	種類(呼び名) 仕上げの形状 工 法 ・内装厚塗材G ・平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り ・内装厚塗材Si ・吹放し・凸部処理 吹付け ・内装厚塗材E 平たん状・凹凸状・ひき起し こて塗り 平たん状・凹凸状・ひき起し ローラー塗り ◎複層仕上塗材の施工箇所：・図示 ・ 材料の防火指定：・無 ・有(不燃認定品)
	5.3 工 法	鋼管製といの防露：・行う ・行わない 施工箇所：※標準仕様書表13.5.4による ・		2.2 材 料	2. モルタル塗り 既製目地：・適用 ・不適用 既製目地の形状寸法等：・図示 ・ 床の目地：・設ける ・設けない 工法：※押し目地 ・切り目地 ・ 外壁タイル下地モルタルの接着力試験：・行う ・行わない		6.2 塗材塗り	種類(呼び名) 仕上げの形状 工 法 ・複層塗材CE ・凸部処理・凹凸模様 吹付け ・複層塗材Si ・ゆず肌状 ローラー塗り ・複層塗材E ・複層塗材RE ・可とう形複層塗材CE ・凸部処理・凹凸模様 吹付け ゆず肌状 ローラー塗り ・複層塗材RS ・凸部処理・凹凸模様 吹付け ゆず肌状 ローラー塗り ・防水形複層塗材CE ・凸部処理・凹凸模様 吹付け ・防水形複層塗材E 吹付け ゆず肌状 ローラー塗り ・防水形複層塗材RS ・防水形複層塗材RE 耐候性：※耐候形3種 ・ 上塗材溶媒：※水系 ・ 上塗材樹脂：※アクリル系 ・ 上塗材外観：※つやあり ・つやなし ・メタリック ・ 防水形の増塗材の適用：・する ・しない
14章 金属工事	1.3 工 法	1. 一般事項 あと施工アンカーの引抜き試験：・行う ・行わない	15章 左官工事	2.5 工 法	3. 床コンクリート直均し仕上げ 施工箇所：○一般の床 ・防水の下地 ・	16章 建具工事	6.2 塗材塗り	6. マスチック塗材塗り 種類：・A種 ・B種
	2.1 ステンスの表面仕上	2. 表面処理 材質：・図示 ・SUS304 ・SUS430 ・ 種 別 施工箇所 ※HL仕上げ ? ・ハフ(#400) ・サテン仕上げ ・鏡面仕上げ		3.1 適用範囲	4. セルフレベリング材塗り 品質：・セメント系 ・せっこう系 ・ 厚さ：※10mm ・図示		8.2 材 料	8. ロックウール吹付け ロックウールのホルムアルデヒド放散量：※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量：※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆ ・ 吹付け厚さ：・図示 ・30mm ・25mm ・20mm ・
2.2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	表面処理：・下表による ※標準仕様書による	種 別 表面処理 施工箇所 ・B-1種 標準仕様書による ・B-2種 標準仕様書による ・A-1種 標準仕様書による ・D種 ・アクリル樹脂焼付塗装 ・フッ素樹脂焼付塗装	5.2 材 料	5. 仕上塗材仕上げ ◎薄付仕上塗材の施工箇所：・図示 ・ 材料の防火指定：・無 ・有(種類(呼び名) 仕上げの形状 工 法 ・外装薄塗材Si ・砂壁状・ゆず肌状 吹付け ゆず肌状・さざ波状 ローラー塗り ・可とう形外装薄塗材Si ・砂壁状・ゆず肌状 吹付け ゆず肌状・さざ波状 ローラー塗り ・外装薄塗材E ・砂壁状・ゆず肌状・着色骨材砂壁状 吹付け 平たん状・凹凸状・着色骨材砂壁状 こて塗り ゆず肌状・さざ波状 ローラー塗り ・可とう形外装薄塗材E ・砂壁状・ゆず肌状 吹付け 平たん状・凹凸状 こて塗り ゆず肌状・さざ波状 ローラー塗り ・防水形外装薄塗材E ・ゆず肌状・さざ波状 ローラー塗り 凹凸状 吹付け ・外装薄塗材S ・砂壁状 吹付け ・内装薄塗材C ・凹凸状 吹付け ・内装薄塗材L 平たん状・凹凸状 こて塗り ゆず肌状・さざ波状 ローラー塗り ・内装薄塗材Si ・砂壁状じゅらく・ゆず肌状 吹付け ・内装薄塗材E 平たん状・凹凸状 こて塗り ゆず肌状・さざ波状 ローラー塗り ・内装薄塗材W 京壁状じゅらく・ゆず肌状 吹付け ・内装薄塗材W(調湿形) 平たん状・凹凸状 こて塗り ◎厚付仕上塗材の施工箇所：・図示 ・ 材料の防火指定：・無 ・有(8.3 配合及び密度等	2.3 材 料	2. アルミニウム製建具 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ・A種 S-4 A-3 W-4 70 ・B種 S-5 ・C種 S-6 A-4 W-5 100 防音ドアセット、サッシの適用：・適用 ○適用しない ・図示 遮音性の等級：・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4 断熱ドアセット、サッシの適用：○適用 ・適用しない ・図示 断熱性の等級：・H-1 ・H-2 ○H-3 ・H-4 ・H-5 耐震ドアセットの適用：・適用 ○適用しない ・図示 面内変形追随性の等級：・D-1 ・D-2 ・D-3 防虫網の適用：・適用 ○適用しない ・図示 網の材種：※合成樹脂製 ・ステンス製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 形式：・外面納まり可動式 ・外面納まり固定式
	2.3 鉄鋼の亜鉛メッキ	表面処理方法 種 別 施工箇所 ・溶融亜鉛メッキ ・A種 ・B種 ・C種 ・電気亜鉛メッキ ・D種 ・E種 ・F種		陽極酸化皮膜の着色方法：※二次電解着色 ・アルカリ樹脂焼付塗装 ・静電塗装 ・フッ素樹脂焼付塗装	◎適用範囲	◎厚付仕上塗材の施工箇所：・図示 ・ 材料の防火指定：・無 ・有(1.3 防火戸	1. 一般事項 防火戸の指定：・図示 ・ ・防火戸等の自動閉鎖装置は、日本建築センター評定品とする。 建具見本の制作：・必要 ○不要 仮組の実施：・行う ○行わない 防犯建物部品の適用：・図示 ・適用 ○適用しない
4.2 材 料	4. 軽量鉄骨天井下地 種類：※標準仕様書表14.4.1による ・	4.3 形状及び寸法	4.4 工 法	◎厚付仕上塗材の施工箇所：・図示 ・ 材料の防火指定：・無 ・有(種類(呼び名) 仕上げの形状 工 法 ・外装厚塗材C ・吹放し・凸部処理 吹付け 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り ・外装厚塗材Si ・吹放し・凸部処理 吹付け ・外装厚塗材E 平たん状・凹凸状・ひき起し こて塗り 平たん状・凹凸状・ひき起し ローラー塗り ・内装厚塗材C ・吹放し・凸部処理 吹付け 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り ・内装厚塗材L 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り	1.3 防火戸	2.3 材 料	
4.3 形状及び寸法	屋外の野縁受け、吊りボルト、インサートの間隔：・≒@900mm ・ 屋外の野縁の間隔：※標準仕様書表14.4.2による ・ 吊ボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法：・図示 ・ 天井ふところ高が1.5mを超える場合の補強方法：※標準仕様書による ・図示 ・ 天井ふところ高が3mを超える場合の補強方法：・図示 ・							
4.4 工 法	吊ボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法：・図示 ・ 天井ふところ高が1.5mを超える場合の補強方法：※標準仕様書による ・図示 ・ 天井ふところ高が3mを超える場合の補強方法：・図示 ・	5. 軽量鉄骨壁下地 種類：・50形 ・65形 ・90形 ・100形 ・	5.3 形状及び寸法	◎厚付仕上塗材の施工箇所：・図示 ・ 材料の防火指定：・無 ・有(種類(呼び名) 仕上げの形状 工 法 ・外装厚塗材C ・吹放し・凸部処理 吹付け 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り ・外装厚塗材Si ・吹放し・凸部処理 吹付け ・外装厚塗材E 平たん状・凹凸状・ひき起し こて塗り 平たん状・凹凸状・ひき起し ローラー塗り ・内装厚塗材C ・吹放し・凸部処理 吹付け 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り ・内装厚塗材L 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り	1.3 防火戸	2.3 材 料	
5.3 形状及び寸法	5. 軽量鉄骨壁下地 種類：・50形 ・65形 ・90形 ・100形 ・	6. 金属成形板張り 材 種 ・アルミニウム ・ガルバリウム鋼板 製 法 ・押出し ・プレス ・ロール 表面処理 ・55%Zn-亜鉛合金めっき処理	6.2 材 料	◎厚付仕上塗材の施工箇所：・図示 ・ 材料の防火指定：・無 ・有(種類(呼び名) 仕上げの形状 工 法 ・外装厚塗材C ・吹放し・凸部処理 吹付け 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り ・外装厚塗材Si ・吹放し・凸部処理 吹付け ・外装厚塗材E 平たん状・凹凸状・ひき起し こて塗り 平たん状・凹凸状・ひき起し ローラー塗り ・内装厚塗材C ・吹放し・凸部処理 吹付け 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り ・内装厚塗材L 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り	1.3 防火戸	2.3 材 料	
6.2 材 料	6. 金属成形板張り 材 種 ・アルミニウム ・ガルバリウム鋼板 製 法 ・押出し ・プレス ・ロール 表面処理 ・55%Zn-亜鉛合金めっき処理	7. アルミニウム製笠木 種類：・250形 ・300形 ・350形 ・図示 表面処理：・A-1種 ・A-2種 ・ 耐風圧、耐積雪対応固定方法：・製造メーカー仕様による ・	6.3 工 法	◎厚付仕上塗材の施工箇所：・図示 ・ 材料の防火指定：・無 ・有(種類(呼び名) 仕上げの形状 工 法 ・外装厚塗材C ・吹放し・凸部処理 吹付け 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り ・外装厚塗材Si ・吹放し・凸部処理 吹付け ・外装厚塗材E 平たん状・凹凸状・ひき起し こて塗り 平たん状・凹凸状・ひき起し ローラー塗り ・内装厚塗材C ・吹放し・凸部処理 吹付け 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り ・内装厚塗材L 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り	1.3 防火戸	2.3 材 料	
6.3 工 法	取付け用下地：※標準仕様書による ・	7. アルミニウム製笠木 種類：・250形 ・300形 ・350形 ・図示 表面処理：・A-1種 ・A-2種 ・ 耐風圧、耐積雪対応固定方法：・製造メーカー仕様による ・	7.2 材 料	◎厚付仕上塗材の施工箇所：・図示 ・ 材料の防火指定：・無 ・有(種類(呼び名) 仕上げの形状 工 法 ・外装厚塗材C ・吹放し・凸部処理 吹付け 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り ・外装厚塗材Si ・吹放し・凸部処理 吹付け ・外装厚塗材E 平たん状・凹凸状・ひき起し こて塗り 平たん状・凹凸状・ひき起し ローラー塗り ・内装厚塗材C ・吹放し・凸部処理 吹付け 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り ・内装厚塗材L 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り	1.3 防火戸	2.3 材 料	
7.2 材 料	7. アルミニウム製笠木 種類：・250形 ・300形 ・350形 ・図示 表面処理：・A-1種 ・A-2種 ・ 耐風圧、耐積雪対応固定方法：・製造メーカー仕様による ・	7.3 工 法	7.3 工 法	◎厚付仕上塗材の施工箇所：・図示 ・ 材料の防火指定：・無 ・有(種類(呼び名) 仕上げの形状 工 法 ・外装厚塗材C ・吹放し・凸部処理 吹付け 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り ・外装厚塗材Si ・吹放し・凸部処理 吹付け ・外装厚塗材E 平たん状・凹凸状・ひき起し こて塗り 平たん状・凹凸状・ひき起し ローラー塗り ・内装厚塗材C ・吹放し・凸部処理 吹付け 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り ・内装厚塗材L 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り	1.3 防火戸	2.3 材 料	
7.3 工 法	取付け用下地：※標準仕様書による ・	7.3 工 法	7.3 工 法	◎厚付仕上塗材の施工箇所：・図示 ・ 材料の防火指定：・無 ・有(種類(呼び名) 仕上げの形状 工 法 ・外装厚塗材C ・吹放し・凸部処理 吹付け 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り ・外装厚塗材Si ・吹放し・凸部処理 吹付け ・外装厚塗材E 平たん状・凹凸状・ひき起し こて塗り 平たん状・凹凸状・ひき起し ローラー塗り ・内装厚塗材C ・吹放し・凸部処理 吹付け 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り ・内装厚塗材L 平たん状・凹凸状・ひき起し・かき落し こて塗り	1.3 防火戸	2.3 材 料	

新庁舎整備事業 倉庫 I 建設工事				5.10
KT1-A009				5.10
建築工事 特記仕様書6				5.10
2019.02				5.10
一級建築士事務所第12399号(有)香山壽夫建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 一級建築士第65408号 佐伯和俊				5.10
構造：一級建築士事務所 東京都知事登録第56306号 株式会社 KAP 一級建築士第341678号(構造設計一級建築士第9490号) 萩生田勇之				5.10

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項				
16章 建具工事	②4)形状及び仕上げ	建具枠の見込：・図示⑦0・100・ 外部に面する建具の表面処理：①B-1種・B-2種 屋内の建具の表面処理：・C-1種・ 表面色：①標準色・特注色 引違い建具落下防止機構：①採用する・採用しない 水切り板：①取付ける・取付けない ぜん板：①取付ける・取付けない 結露水の処理方法：・図示①メーカー標準仕様による	16章 建具工事	7.2 材 料	ふすまの上張りの種類：・本鳥の子・新鳥の子・ビニル紙・ 代用樹種等を適用しない箇所：・ 7.3 形状及び仕上げ フラッシュ戸の表面板の厚さ：・標準仕様書表16.7.5iによる・ かまち戸の見込寸法：・図示 ※36mm・ ふすまの見込寸法：・図示 ※19.5mm・ 戸ぶすまの見込寸法：・図示 ※30mm・ 紙貼障子の見込寸法：・図示 ※30mm・ ふすまの工法：・轉型・圍型・ ふすまの縁の仕上げ：・図示・本漆塗り・カシュー塗り・ウレタン塗装・素木・	16章 建具工事	12.2 形式及び機構	溶融亜鉛めっきの付着量：・Z06(F06)・AZ90・ ＜パイプの材質＞：・ステンレス・スチール・ ＜パイプ径＞：・図示・13mm・16mm・19mm・ ＜パイプ間隔＞：・図示・70mm・ ＜格子間隔＞：・図示・500mm・ 12.4 形状及び仕上げ スラットの形状：・インターロックンク形・オーバーラッピング形 13.2 形式及び機構 セクション材料による区別：・図示・下表による				
	3.2 性能及び構造	3. 樹脂製建具		8. 建具用金物	12.2 形式及び機構		セクション材料による区別	開閉方式による種類	収納形式による区分	ガイドレールの材料		
		種 別		耐風圧性	気密性		水密性	枠の見込み寸法(mm)				
		・A種		S-4	A-4		W-4	70				
		・B種		S-5			W-5					
		・C種		S-6								
				防音ドアセット、サッシの適用：・適用・適用しない・図示 遮音性の種別：・T-A・T-B 断熱ドアセット、サッシの適用：・適用・適用しない・図示 断熱性の種別：・H-A・H-B・H-C・	8.1 適用範囲		8. 建具用金物	セクション材料による区別	開閉方式による種類	収納形式による区分	ガイドレールの材料	
	3.3 材 料	ガラスの形式：・複層ガラス・単層ガラス・三重ガラス・			⑧2)材質、形状、及び寸法		適用範囲：・建具製作所仕様以外の金物(金物の種類、材質：※標準仕様書表16.8.1iによる・ 軸吊りヒンジ：・自閉装置付き・自閉装置なし ドアクローザのディレードアクション(遅延閉)機能の適用：①適用・適用しない 戸当り：①あおり止め(フック)付き・あおり止め(フック)付きなし 樹脂製建具の丁番：※標準仕様書表16.8.3iによる・ マスターキー：・製作する・製作しない ①マスターキーの製作については施設管理者及び監督員と協議する。 マスターキーの系統：・系統 指定建物錠の防犯性能の適用：・する・しない 指定建物錠とは、建物の外部出入口用に用いるシリンダー錠・シリンダー/サムターン錠が該当 耐ピッキング性能：・5分未満・5分以上 ※10分以上 耐鍵穴壊し性能：・5分未満・5分以上 ※10分以上 耐サムターン回し性能：・なし(5分未満) ※あり(5分以上) 耐カム送り解錠性能：・なし(5分未満) ※あり(5分以上) 耐こじ破り性能：・なし(5分未満) ※あり(5分以上) 出荷時の子鍵本数：①3本・本 鍵箱の適用：・必要①不必要	12.2 形式及び機構	・スチールタイプ	・バラン式	・スタンダード形	・鋼製
	3.4 形状及び仕上げ	建具の表面色：・標準色・特注色			⑧4)鍵		9. 自動ドア開閉装置	・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	・ステンレス製	
3.5 工 法	水切り板：・取付ける・取付けない ぜん板：・取付ける・取付けない			10. 自閉式上吊り引戸装置	・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	・パーチカル形				
④2)性能及び構造	4. 鋼製建具	性能及び構造：①JIS規格による・ 外部に面する鋼製建具の耐風圧性能：・S-4①S-5・S-6・		11. 重量シャッター	耐風圧性能：・50・75・100・125							
④3)材 料	鋼板の種類：・JIS G 3302;溶融亜鉛めっき鋼板帯 ・JIS G 3317;溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板帯 JIS G 3302のめっきの最小付着量(両面)：・Z12又はF12(120 g/m ²)以上・ JIS G 3317のめっきの最小付着量(両面)：・Y08以上・			12. 軽量シャッター	14. ガラス							
④4)形状及び仕上げ	鋼板類の厚さ：①標準仕様書表16.4.2iによる・ 防音ドアセット、サッシの適用：・適用・適用しない①図示 遮音性の等級：・T-1・T-2・T-3・T-4			12.1 形式及び機構	ガラスの種類：①図示・ ガラス留め材							
5.2 性能及び構造	5. 鋼製軽量建具	性能及び構造：※JIS規格による・ 簡易気密型ドアセットの適用：・適用・適用しない・図示 気密性：・A-1・ 水密性：・W-1・		12.2 形式及び機構	建具の種類	種類・材質						
5.3 材 料	鋼板の種類：・ビニル被覆鋼板・カー鋼板・ステンレス鋼板・図示 召合わせ、縦小口包み板等の適用：・適用・適用しない・図示 材質：※鋼板・ステンレス鋼板・アルミニウム押出型材・			12.2 形式及び機構	・アルミニウム製	①シーリング材 ※ガスケット	・ハテ材(1種・2種)					
5.4 形状及び仕上げ	鋼板類の厚さ：・図示・0.6mm・1.5mm(ステンレス鋼板)・1.6mm・2.3mm・			12.2 形式及び機構	①鋼製	①シーリング材	・ハテ材(1種・2種)					
6.3 材 料	6. ステンレス製建具	性能及び構造：※JIS規格による・ ステンレス鋼板の材質：※SUS304,430J1L,430・SUS304・SUS430・ 表面仕上げ：※HL・鏡面・ハフ()・ 曲げ加工：・普通曲げ・角出し曲げ		12.2 形式及び機構	・ステンレス製	※シーリング材	・ハテ材(1種・2種)					
6.5 工 法				12.2 形式及び機構	・木製	※シーリング材	・ハテ材(木製用・)					
7.2 材 料	7. 木製建具	建具材の加工、組立て時の含水率の種別：・A種 ※B種・C種 ・フラッシュ戸の心材の中骨、上下棧及び中棧には空気穴を適正に設ける。 合板類の適用：・適用・適用しない・図示 種類：・ラワン合板・シナ合板・図示・ かまち戸の樹種：・栓・ナラ・ラワン 鏡板の樹種：・杉・栓・ケヤキ・ナラ・ラワン		12.2 形式及び機構	金属性製建具用ハテはJISA5752iによる。							
				12.2 形式及び機構	ガラス溝の大きさ：①標準仕様書表16.14.1iによる・ 熱線反射ガラスの映像調整：・行う・行わない 表面形状：・図示・ブレン・梨地・カシミ・ 寸法、厚み：・図示・190x190x95・145x145x95・ 壁用金属枠：・図示・アルミニウム製・スチール製・ステンレス製・ 補強剤：・図示・ 化粧目地の色：・白・グレー・黒・ シーリング材：・ポリサルファイド系・ウレタン系・シリコン系・ 金属製化粧カバー：・図示・ 風圧力に対応した工法：・ 目地幅：※標準仕様書による・ 伸縮調整目地の位置：※標準仕様書による・ 伸縮調整目地の仕上：※標準仕様書による・							
				12.2 形式及び機構	14.4 工 法							
				12.2 形式及び機構	14.5 ガラスブロック積み							
				12.2 形式及び機構	14.3 ガラス溝の寸法、形状等							
				12.2 形式及び機構	14.4 工 法							
				12.2 形式及び機構	14.5 ガラスブロック積み							

新庁舎整備事業 倉庫 I 建設工事	①	②	③	④
	KT1-A010			
	⑤	⑥	⑦	⑧
	一級建築士事務所第12399号(有)香山壽夫建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 一級建築士第65408号 佐伯和俊			
	構造：一級建築士事務所 東京都知事登録第56306号 株式会社 KAP 一級建築士第341678号(構造設計一級建築士第9490号) 萩生田勇之			

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
17章	カーテンウォール工事		18章	塗装工事		19章	内装工事	
	2.3 形状及び仕上げ	製品の寸法許容差：・図示 ※標準仕様書による 製品の見え掛かり部分の仕上げ：・図示 ガラス溝の寸法、形状：・図示 ※標準仕様書による		7.4 コンクリート面等塗料塗り	7. 耐候性塗料塗り(DP) 種別：・A種 ・B種 ・C種 ① コンクリート打放し面：疎水剤(ランデックスコート同等品)		2.2 材 料	ビニル幅木の高さ：※60mm ・100mm ・300mm 接着剤のホルムアルデヒド放散量：※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆
	2.5 取付け	ファスナー金物の取付位置、寸法許容差：・図示 ※標準仕様書による カーテンウォール部材の取付位置、寸法許容差：・図示 ※標準仕様書による		8.2 * * * 塗料塗り	8. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) コンクリート面：・A種 ※B種 モルタル面：・A種 ※B種 プaster面：・A種 ※B種 せっこうボード面：・A種 ※B種 その他ボード面：・A種 ※B種		2.3 施 工	下地の工法：・図示 ※標準仕様書による 熱溶接工法：・適用する ・適用しない
	3.2 材 料	3. PCカーテンウォール コンクリートの種類・品質：・図示 ※標準仕様書による 鉄筋の種類：・図示 ※SD295A ・SD345 補強鉄線の寸法：・図示 ・φ3.2x100x100 ・φ3.2x50x50 シーリングの種類：・図示 耐火目地材：・図示 断熱材：・図示 サッシ枠、ゴンドラ用ガイドレール：・図示		8.4 鉄鋼面塗料塗り	9. 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) 種別：・A種 ※B種		3.3 材 料	3. カーペット敷き ◎織じゅうたん 種別：・A種 ・B種 ・C種 パイル形状：・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループ併用 色柄：・無地 ・柄物 帯電性の適用：・適用しない ・適用する(人体帯電圧：※3kV以下)
	3.3 形状及び仕上げ	寸法許容差：・図示 ※標準仕様書による カーテンウォールの仕上げ：・図示 ※標準仕様書による 構造ガスケット：・図示 ※標準仕様書による		9.2 塗料塗り	10. 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T) コンクリート面：・A種 ※B種 モルタル面：・A種 ※B種 プaster面：・A種 ※B種 せっこうボード面：・A種 ※B種 その他ボード面：・A種 ※B種		3.3 材 料	◎タフテッドカーペット パイル形状：・ループ ・カット パイル長：・図示 ・mm ◎ニードルパンチカーペット 厚さ：・4mm ・7mm ◎タイルカーペット
	3.4 製作	鉄筋の配筋：・図示		10.2 * * * 塗料塗り	11. ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) 種別：・A種 ※B種		3.4 工 法	◎下敷き材 下敷き材：※反毛フェルト第2種2号(呼厚8mm) タフテッドカーペットの工法：・クリップ工法 ・全面接着工法 タイルカーペットの敷き方(平場)：※市松敷き (階段部分)：※模様流し
3.5 取付け	取付け位置の寸法許容差：・図示 ※標準仕様書による	11.2 塗料塗り	12. ラッカーエナメル塗り(LE) 種別：・A種 ※B種	4.3 工 法	4. 合成樹脂塗床 種 類 仕上げ種類 備 考 ・弾性ウレタン塗り床材 ※平滑 防滑 ・つや消し ・エポキシ樹脂塗り床材 ・薄膜流し展べ ・厚膜流し展べ：※平滑 ・防滑 ・樹脂モルタル：平滑 ・防滑			
3.6 ガラス取付け	構造ガスケットの取付：・図示 ※標準仕様書による	14.2 塗料塗り	14. 木材保護塗料塗り(WP) 種別：・A種 ※B種	5.2 材 料	5. フローリング張り 種 類 材 種 工 法 形式寸法等(mm)LxWxt ・フローリングボード1等 ※ナラ ・釘留め工法(根太張) ・500(L)x75(W)x15(t)以上 ・ ・釘留め工法(直張り) ・ ・接着工法			
18章	塗装工事		19章	内装工事		20章	内装工事	
	⑬ 材 料	1. 一般事項 塗料の防火材料の指定：・図示 ・無 ・有() 2. 素地ごしらえ 塗装面の種類 種 別 木部(不透明塗料塗り部) ※A種 ・B種 木部(透明系塗料塗り部) ・A種 ※B種 鉄鋼面 ・A種 ・B種 ※C種 亜鉛メッキ鋼面 ・A種 ・B種 モルタル、プaster ・A種 ※B種 コンクリート、ALCパネル ・A種 ※B種 押出成形セメント板 ・A種 ※B種 せっこうその他のボード 継目処理工法の場合：※A種 ・B種 その他の場合：・A種 ※B種		2.2 材 料	2. ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り ビニル床シートの材料：・図示 ・下表による 種 類 記号 色柄 厚さ(mm) ・発泡砲層のないビニル床シート ※FS ※無地 ※2.0 ・2.5 ・NS ・マーブル ・ ・発泡層のあるビニル床シート(クッションフロア) ・DO ・ ※2.0 ・3.5 ・ ビニル床タイル、ゴム床タイルの材料：・図示 ・下表による 種 類 厚さ(mm) ・ノンジョイントビニル床タイル 半硬質(CT) ・2.0 ・ ・ノンジョイントビニル床タイル 軟質(CTS) ・2.0 ・ ・ホモニアスビニル床タイル(HT) ・2.0 ・ ・ゴム床タイル ・無地 ・4.0 ・ ・マーブル ・4.0 ・		5.3~5.5 工 法	・モザイクパターケット1等 ※ナラ ・釘留め工法(根太張) 厚さ：・6 ・7 ・8 ・弾性モザイクパターケット ・釘留め工法(直張り) ・ ・接着工法 ・複合フローリング ※ナラ ・釘留め工法(根太張) ・A種 ・B種 ※C種 ・サクラ ・釘留め工法(直張り) ・A種 ・B種 ※C種 ・協議 ・接着工法 ・A種 ・B種 ※C種
	3.2 塗料種別	3. 錆止め塗料塗り 鉄鋼面屋内：※A種 ・B種 亜鉛メッキ鋼面屋外：※A種 ・B種 亜鉛メッキ鋼面屋内：※A種 ・B種 ・C種 鉄鋼面見え掛り部分：※A種 ・B種 鉄鋼面見え隠れ部分：・A種 ※B種 亜鉛メッキ鋼面鋼製建具面：※A種 ・B種 亜鉛メッキ鋼面鋼製建具面以外：・A種 ※B種		2.2 材 料	◎帯電防止床シート張り ◎帯電防止床タイル張り 種類：・ 性能：・体積抵抗値(1.0x10 ⁹ Ω) ・ 厚さ：・2.0mm ・4.0mm ・4.5mm ・ ◎視覚障害者用床タイル張り 種類：・合成ゴム貼付用 ・合成ゴム埋込用 ・合成ゴム表面CON ・せっ器質タイル ・コンクリート 厚み：・2mm ・15mm ・20mm ・30mm ・ ◎耐動荷重性床シート張り 種類：・ 厚み：・ mm ・ ビニル幅木の厚み：※1.5mm以上		5.6 現場塗装仕上げ	仕上げ：※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステイン塗り ・既製仕上げ
	⑭ 錆止め塗料塗り						6.2 材 料	6. 畳敷き 種別：・A種 ・B種 ・C種 ・D種(・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N)
	4.2 塗料の種類	4. 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 種別：※1種 ・2種						
	4.3 木部塗料塗り	種別(外部)：※A種 ・B種 種別(内部：多孔質広葉樹以外)：・A種 ※B種 種別(内部：多孔質広葉樹)：・A種 ・B種						
4.4 鉄鋼面塗料塗り	種別：・A種 ※B種							
5.2 塗料塗り	5. クリヤーラッカー塗り(CL) 種別：・A種 ※B種							
6.2 塗料塗り	6. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) 種別：・A種 ※B種							

新庁舎整備事業 倉庫 I 建設工事				図面番号	●
KT1-A011		E書		図名	
		建築工事 特記仕様書8			
図尺		日付		2019.02	
一級建築士事務所第12399号(有)香山壽夫建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F		一級建築士第65408号		佐伯和俊	
構造：一級建築士事務所 東京都知事登録第56306号 株式会社 KAP		一級建築士第341678号(構造設計一級建築士第9490号)		萩生田勇之	

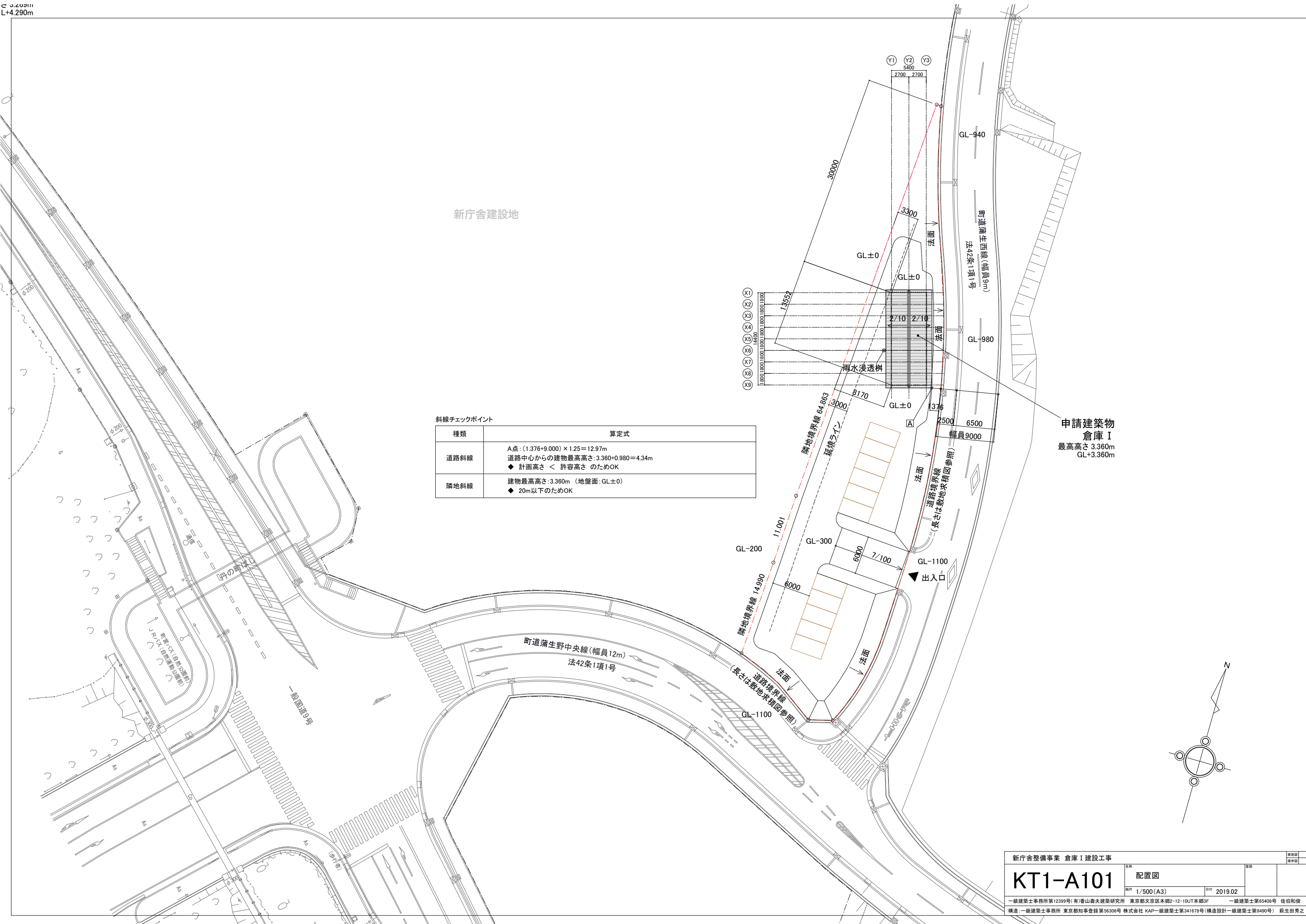
Table with 4 main columns: 19章 内装工事, 20章 エクステリア工事, 21章 設備工事, 22章 電気工事. It contains detailed specifications for materials and construction methods across various sections like 断熱材 (Insulation), 壁紙 (Wallpaper), and 床材 (Flooring).

Project Information Summary Table. Includes project name: 新庁舎整備事業 倉庫 I 建設工事. Main title: KT1-A012. Date: 2019.02. Location: 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F. Architect: 佐伯和俊.

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																									
20章 ユニット及びその他の工事	*.12 既製間仕切	耐火性能: ・不燃 ・準不燃 ・難燃	21章 排水工事	2.2 施工	盛土地盤等の施工法: ・図示 ・ 継手の工法: ・図示 ・ ◎遠心力鉄筋コンクリート管 基床の厚さ: ・図示 ・ 基床の種類: ・図示 ・ ◎硬質ポリ塩化ビニル管 基床の厚さ: ・図示 ・ 基床の種類: ・図示 ・ 継手の種類: ※接着材 ・ゴム輪 ・	22章 舗装工事	5.3 材料	◎車道部コンクリート 設計基準強度(車道部): ※24N/mm2 ・27N/mm2 ・ スランプ: ・5cm ※8cm ・12cm ・ 粗骨材の最大寸法: ・20mm ・25mm ・40mm ・ 寒冷期舗装の早強セメントの使用: ・使用する ・使用しない 加熱施工式注入目地材: ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ ◎歩道部コンクリート 設計基準強度(歩道部): ※18N/mm2 ・21N/mm2 ・ スランプ: ・5cm ※8cm ・12cm ・ 粗骨材の最大寸法: ・20mm ・25mm ・ 転圧コンクリート舗装: ・ 寒冷期舗装の早強セメントの使用: ・使用する ・使用しない 加熱施工式注入目地材: ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ																									
	*.13 アコーディオドア	表面材: ・図示 ・ビニルシート張り ・ 形式: ・図示 ・両開 ・片開 折りたたみ幅(mm): ・図示 ・ パネル厚さ: ・図示 ・ 表面仕上げ: ・図示 ・ 接点の接床処置: ・有 ・無							3.1 材料	3. 街きよ、縁石及び側溝 縁石の形状・寸法: ・図示 ・ L形側溝の形状・寸法: ・図示 ・ U形側溝の形状・寸法: ・図示 ・ U形側溝の蓋の形状・寸法: ・図示 ・ コンクリートの種類: ※無筋コンクリート ・図示 ・ コンクリートの材料強度: ※18N/mm2 ・21N/mm2 ・図示 ・ 地業の材料: ・砂利地業【 ・再生クラッシャーラン ・切込砕石 ・切込砂利 】 砂利地業の厚み: ※100mm ・図示 ・ 地業の材料: ・砂地業【 ・山砂 ・川砂 ・砕砂 】 砂地業の厚み: ※100mm ・図示 ・	5.4 施工	目地の種類及び間隔: ・図示 ※標準仕様書表22.5.4Iによる ・ 目地の構造: ・図示 ※標準仕様書図22.5.1Iによる ・																					
	*.14 スライディングドア	材質等: ・アルミニウム既製品(内外枠共) 寸法(mm): ・450×450 ・600×600											2.2 路床の構成 凍上抑制層の適用: ・適用しない ・適用する 厚さ: ・車道部 mm ・歩道部 mm 透水性舗装のフィルター層の適用: ・適用しない ・適用する 厚さ: ・車道部 mm ・歩道部 mm 路床安定処理の適用: ・適用しない ・適用する 方法: ・添加材による処理 ・図示 ・ 盛土の種類: ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 路床安定処理用添加材料: ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライッシュセメント ・消石灰【 ・特号 ・1号 】 ・生石灰【 ・特号 ・1号 】 ジオテキスタイルの適用: ・適用しない ・適用する: 路床土のCBR試験: ・行わない ・行う【 ・乱した土 ・乱さない土 】 路床締固め度試験: ・行う ・行わない 現場CBR試験: ・行わない ・行う	6.2 舗装の構成 及び仕上り	カラー舗装の種類: ・加熱系【 ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 】 ・図示 ・常温系【 ・ニート工法 ・塗布工法 】 ・図示 常温系カラー舗装の下部: ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装 結合材による種類: ・図示 ・ 車道部の基層の適用: ・適用しない ・適用する																		
	*.15 天井点検口	材質等: ・アルミニウム既製品(内外枠共) 寸法(mm): ・450×450 ・600×600														2.3 材料	2. 路 床	◎歩道部 カラー舗装の種類: ・加熱系【 ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 】 ・図示 ・常温系【 ・ニート工法 ・塗布工法 】 ・図示 常温系カラー舗装の下部: ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装 結合材による種類: ・図示 ・ 車道部の基層の適用: ・適用しない ・適用する															
	*.16 床下点検口	材質: ・ステンレス既製品(目地材質共) 寸法(mm): ・450×450 ・600×600																	2.5 試験	3. 路 盤	◎車道部 カラー舗装の種類: ・加熱系【 ・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 】 ・図示 ・常温系【 ・ニート工法 ・塗布工法 】 ・図示 常温系カラー舗装の下部: ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装 結合材による種類: ・図示 ・ 車道部の基層の適用: ・適用しない ・適用する												
	*.17 屋上点検口	材質: ・木製【 ・米松 ・米桐 】 ・アルミプレート【 厚さ: ・3.0mm ・ 】																				3.2 路盤の厚さ 及び仕上り	4. アスファルト舗装	7.2 舗装の構成 及び仕上り									
	*.18 換気扇取付け枠	材質等: ・硬質塩化ビニル管φ50φ(内側ステンレス製防虫網外側併付付エルボ型) ◎床下換気金物 ・鑄鉄(コールド焼付厚9mm) ・樹脂製 ・ステンレス金網裏打ち ・裏打ちなし																							3.3 材料	舗装の構成及び厚さ: ・図示 ・ 車道部の基層の適用: ・適用しない ・適用する 舗装の平坦性: ・図示 ※標準仕様書表22.4.2Iによる ・ 加熱アスファルト混合物等の種類: 表層: ・密粒度アスファルト混合物 ・細粒度アスファルト混合物 シールコートの適用: ・適用しない ・適用する アスファルト混合物の抽出試験: ・行う ・行わない	7.3 材料						
	*.19 換気口	◎レジスター、固定ガラリ ・既製品(外部水切り付固定ガラリ 内部ステンレス製防虫網(外壁取付時))																										3.4 舗装の構成 及び仕上り	5. コンクリート舗装	9.2 材料			
	*.20 マンホールカバー	種別: ・一般型 ・防水型 ・防臭型 ・ 性能: ・防水防臭型【 ・化粧型 ・一般用 】 ・ 鍵: ・有 ・無																													4.2 舗装の構成 及び仕上り	舗装の構成及び厚さ: ・図示 ※標準仕様書表22.5.1Iによる ・ 寒冷地の縁部立下り寸法: ・図示 ・	7. 透水性アスファルト舗装 舗装の厚さ: ・車道部【 ・50mm ・ 】 ・歩道部【 ・30mm ・ 】 舗装の平坦性: ・図示 ※標準仕様書表22.4.1Iによる ・ アスファルトの種類(車道部): ・図示 ※ホリマー改質アスファルト俵型 ・ホリマー改質アスファルト圓型 ・ アスファルトの種類(歩道部): ・図示 ※ストレートアスファルト
	*.21 畜拭きマット	材質: ・塩化ビニル又はゴム/受枠:ステンレス鋼 ・硬質アルミニウム合金 ・ステンレス板 水抜パイプ: ・有 ・無																															
*.22 浴 槽	種別: ・A種 ・B種【 ・ホーロー ・FRP ・ステンレス 】	4.5 施 工	8.3 材料																														
*.23 すのこ	材質: ・木製【 ・ヒキ ・ヒバ ・米松 ・台松 】 ・合成樹脂(市場品)			4.6 試 験	8. ブロック系舗装 コンクリート平板舗装の目地材: ※砂 ・モルタル 舗石舗装の基層及び厚さ: ・コンクリート版(厚さ: ※70mm ・図示 ・) ・アスファルト混合物(厚さ: ※50mm ・図示 ・) 舗装仕上り面の平坦性: ・図示 ※標準仕様書による ・ コンクリート平板舗装の種類/寸法: ※N300 ・ 舗石の種類/寸法: ※2等品 ・ ジオテキスタイルの適用: ・適用しない ・適用する:																												
*.24 屋上丸環	材質: ・ステンレス鋼 ・					4.5 施 工	9. 砂利敷き 種別(通路): ※A種 ・B種 種別(建物周囲): ・A種 ※B種																										
*.25 避難ハッチ等	材質: ・ステンレス(アラームはネジ巻き式)							5.2 舗装の構成 及び仕上り																									
2.1 材 料	2. 屋外雨水排水 材質: ・遠心力鉄筋コンクリート管 ・硬質ポリ塩化ビニル管【 ・VP ・VU 】 ・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル3層管(RS-VU) ・排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手(DV) ・屋外排水設備用硬質塩化ビニル管継手(VU継手) ・ 管径: ・図示 ・ 側溝(形状・寸法): ・図示 ・ 側塊(形状・寸法): ・図示 ・ 排水樹(形状・寸法): ・図示 ・現場打ち角型:600x600 ・コンクリート既製樹:300x300 ・ ◎樹蓋 材質: ・図示 ・鑄鉄製グレーチング ・鋼製グレーチング ・ステンレス製グレーチング ・コンクリート製 ・鑄鉄製 ・ 種別: ・図示 ・マンホール蓋 ・床化粧マンホール蓋 ・格子蓋 ・ 種類: ・図示 ・水封型 ・簡易密閉型 ・密閉型 ・ 適用荷重: ・図示 ・歩行用 ・T-2 ・T-6 ・T-14 ・T-20 ・T-25 メインバーピッチ等: ・図示 ・普通目 ・細目/ブレン ・細目/ノスリップ ◎側溝グレーチング 材質: ・図示 ・鋼製 ・ステンレス製 ・ 適用荷重: ・図示 ・歩行用 ・T-2 ・T-6 ・T-14 ・T-20 ・T-25 メインバーピッチ等: ・図示 ・普通目 ・細目/ブレン ・細目/ノスリップ 地業の材料: ・砂利地業【 ・再生クラッシャーラン ・切込砕石 ・切込砂利 】 地業の材料: ・砂地業【 ・山砂 ・川砂 ・砕砂 】 砂のふるい分け試験: ・適用する ・適用しない 埋戻し材料: ・A種 ※B種 ・C種 ・D種																																

新庁舎整備事業 倉庫 I 建設工事		図例	■
KT1-A013		図例	■
		建築工事 特記仕様書10	
図例	—	図例	■
一級建築士事務所第12399号(有)香山壽夫建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F		図例	■
構造:一級建築士事務所 東京都知事登録第56306号 株式会社 KAP		図例	■
一級建築士第65408号 佐伯和俊		図例	■
構造:一級建築士事務所 東京都知事登録第56306号 株式会社 KAP		図例	■
一級建築士第341678号(構造設計一級建築士第9490号) 萩生田秀之		図例	■

章	項目	特記事項	章	部位	メーカー・品名・品種・品番	備考	章	項目	業者名・連絡先	備考				
23章 植栽及び屋上緑化工事	2.2 植栽基盤一般	2. 植栽基盤 有効土層として整備する面積／厚さ：・図示 ※標準仕様書表23.2.1による 基盤浸透水排水施設の設置：・設置する ・設置しない 排水施設：・図示 ・暗渠 ・開渠 ・排水層 ・縦穴排水 ・ 植栽基盤整備工法(樹木)：※A種 ・B種 ・C種 ・D種 植栽基盤整備工法(芝、地被類)：・A種 ※B種 ・C種 ・D種 土壌改良の適用：・適用する ・適用しない	指定メーカー等リスト				指定工事／業者等リスト							
				2.3 材 料	植込み用土：・現場発生の良質土 ・客土 土壌改良材：・パーク堆肥 ・発酵下水汚泥コンポスト ・ パーク堆肥の場合の緩効性肥料の適用：・適用しない ・適用する；									
	3.2 材 料	3. 植 樹 樹木の樹種／寸法／株立ち数等：・図示 ・ 支柱材：※丸太【・杉 ・桧 ・松 ・ 】 ・竹 支柱材の防腐処理方法：※加圧式防腐処理 ・焼き丸太処理 ・ 幹巻き用材料：※幹巻き用テープ ・わら及びこも 支柱の工法：・図示 ・添え柱形 ・鳥居形 ・八掛形 ・												
				3.3 新植の工法	補償期間：※引渡しの日から1年 ・									
	3.4 新植樹木の枯補償	補償期間：※引渡しの日から1年 ・												
	3.6 移植樹木の枯損処置	補償期間：※引渡しの日から1年 ・												
	4.2 材 料	4. 芝張り、吹付けは種及び地被類 芝の種類：※コウライシバ ・ソシバ ・ 吹付けは種用種子の種類／量：※標準仕様書による ・洋芝類(g/m2) 地被類の樹種／芽立数／コンテナ径／コンテナ数：・図示 ・												
				4.3 芝張りの工法	芝張りの工法(平地)：※目地張り ・べた張り 芝張りの工法(法面)：・目地張り ※べた張り									
	4.7 芝張り*** ***の枯補償	補償期間：※引渡しの日から1年 ・												
	5.2 植栽基盤	5. 屋上緑化 ◎屋上緑化システム 土壌層の厚さ：・		◎屋上緑化システム 排水層：・軽量骨材 ・板状成型品 土壌層：・人工軽量土 ※改良土 ◎屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類の樹種／寸法／株立ち数等：・図示 ・ 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等：・図示 ・ 建設省告示第1458号に対応した工法：・ 支柱の設置／形式等：・設置しない ・設置する； 灌水装置の設置／種類：・設置しない ・設置する；	施主支給品リスト					項目	摘要	備考		
						5.3 材 料		◎屋上緑化システム 排水層：・軽量骨材 ・板状成型品 土壌層：・人工軽量土 ※改良土 ◎屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類の樹種／寸法／株立ち数等：・図示 ・ 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等：・図示 ・ 建設省告示第1458号に対応した工法：・ 支柱の設置／形式等：・設置しない ・設置する； 灌水装置の設置／種類：・設置しない ・設置する；						
	5.4 工 法	建設省告示第1458号に対応した工法：・ 支柱の設置／形式等：・設置しない ・設置する； 灌水装置の設置／種類：・設置しない ・設置する；												
	5.5 新植樹木、芝及び 地被類の枯補償	新植樹木の補償期間：※引渡しの日から1年 ・ 芝及び地被類の補償期間：※引渡しの日から1年 ・												



新庁舎建設地

申請建築物
倉庫 I
最高高さ 3.360m
GL+3.360m

斜線チェックポイント

種類	算定式
道路斜線	A点: $(1.376+9.000) \times 1.25 = 12.97m$ 道路中心からの建物最高高さ: $3.360+0.980 = 4.34m$ ◆ 計画高さ < 許容高さ のためOK
隣地斜線	建物最高高さ: 3.360m (地盤面: GL±0) ◆ 20m以下のためOK

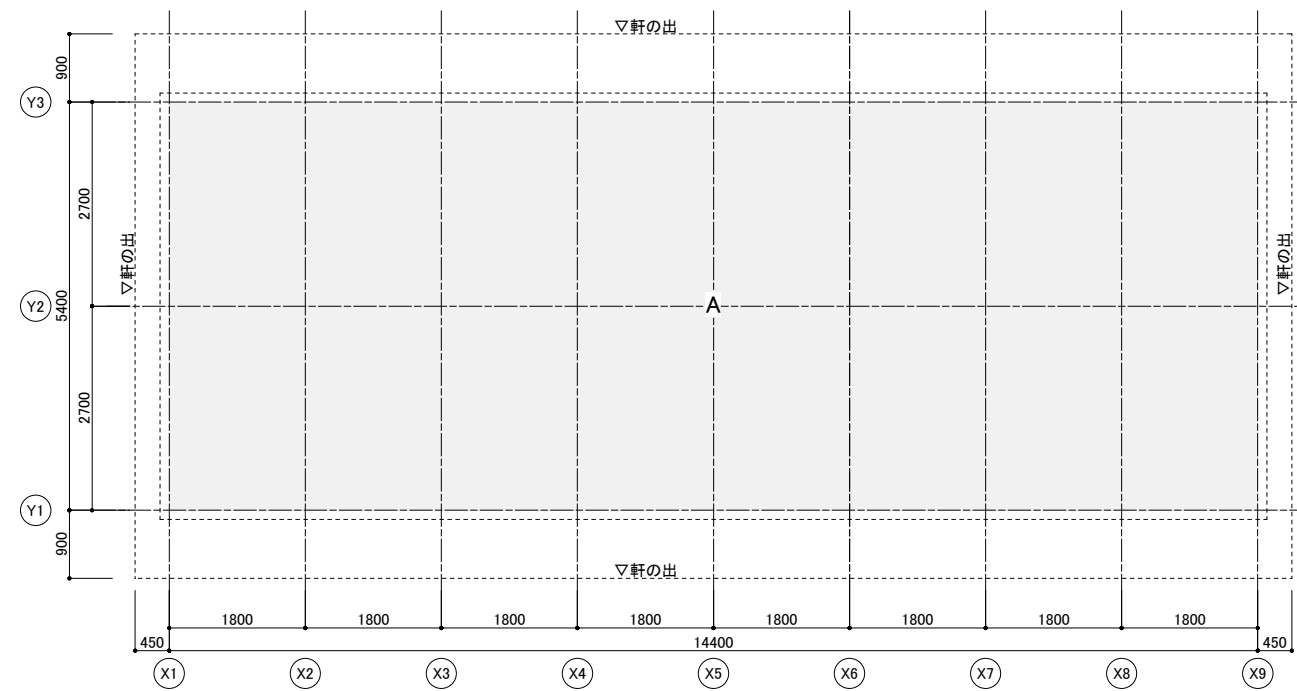
新庁舎整備事業 倉庫 I 建設工事

KT1-A101 配置図

縮尺 1/500 (A3) 日付 2019.02

一級建築士事務所 12399号 (有) 香山齋夫建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 一級建築士第65408号 佐伯和俊
構造: 一級建築士事務所 東京都知事登録第56306号 株式会社 KAP 一級建築士第341678号 (構造設計一級建築士第9490号) 萩生田秀之

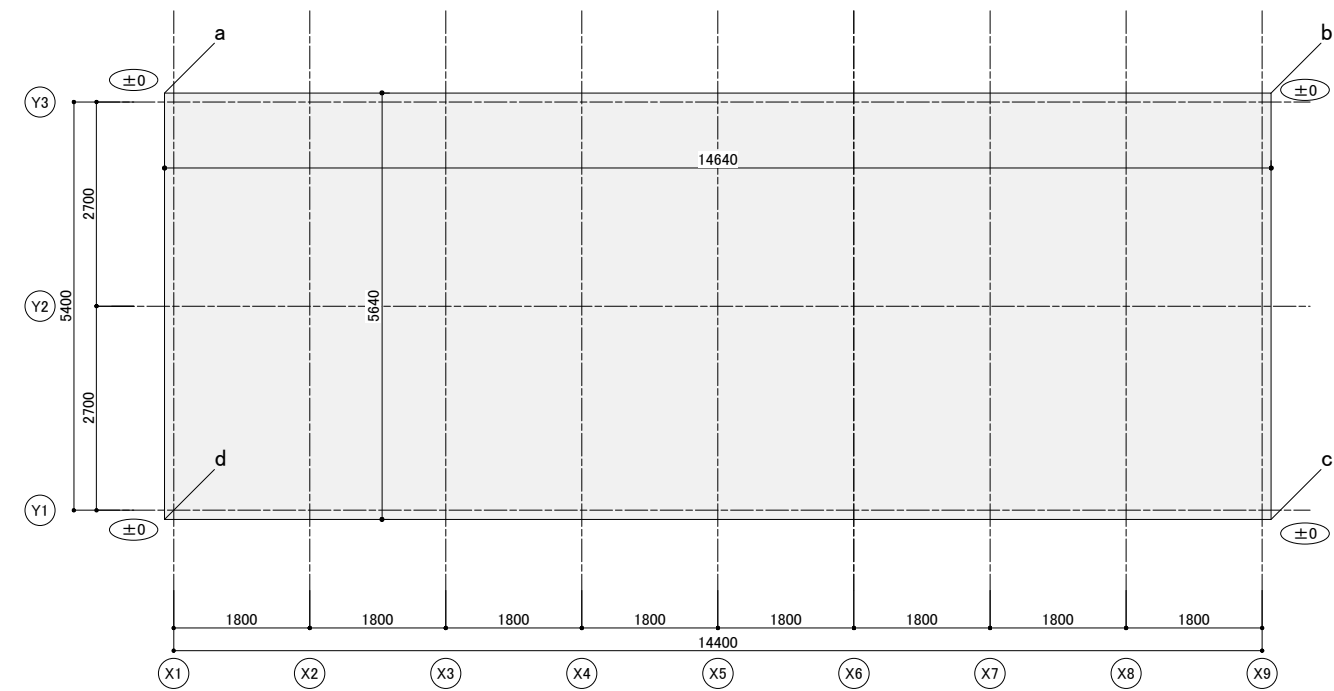
床面積求積図 S:1/100



面積表

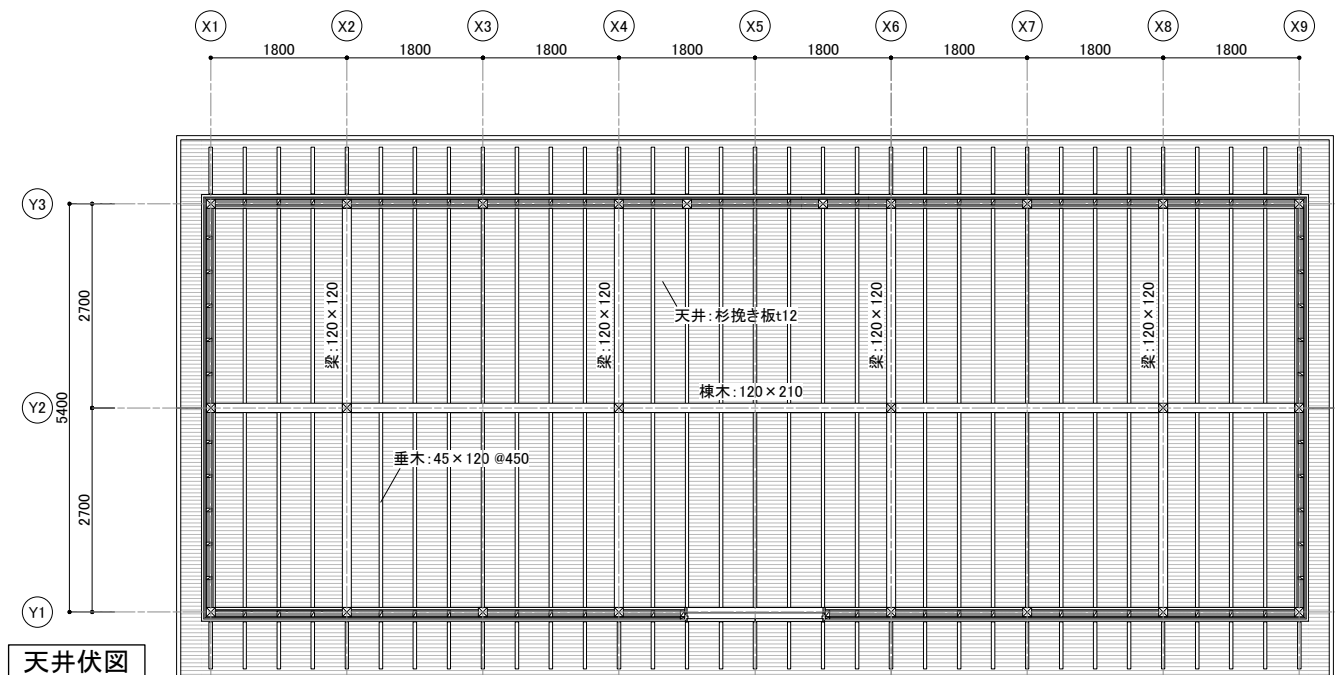
記号	算定式	面積 (㎡)
A (倉庫 I)	14,400 × 5,400	77.76
延床面積		77.76㎡
建築面積		77.76㎡

地盤面算定図 S:1/100

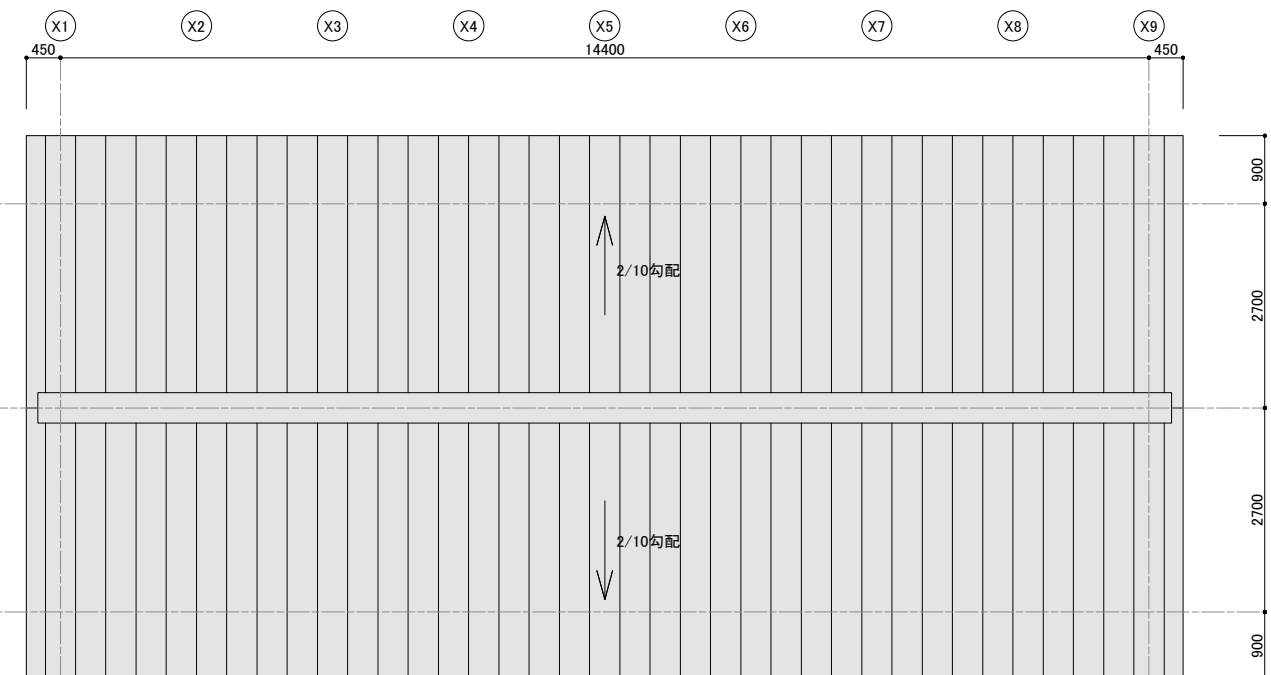


地盤面算定表

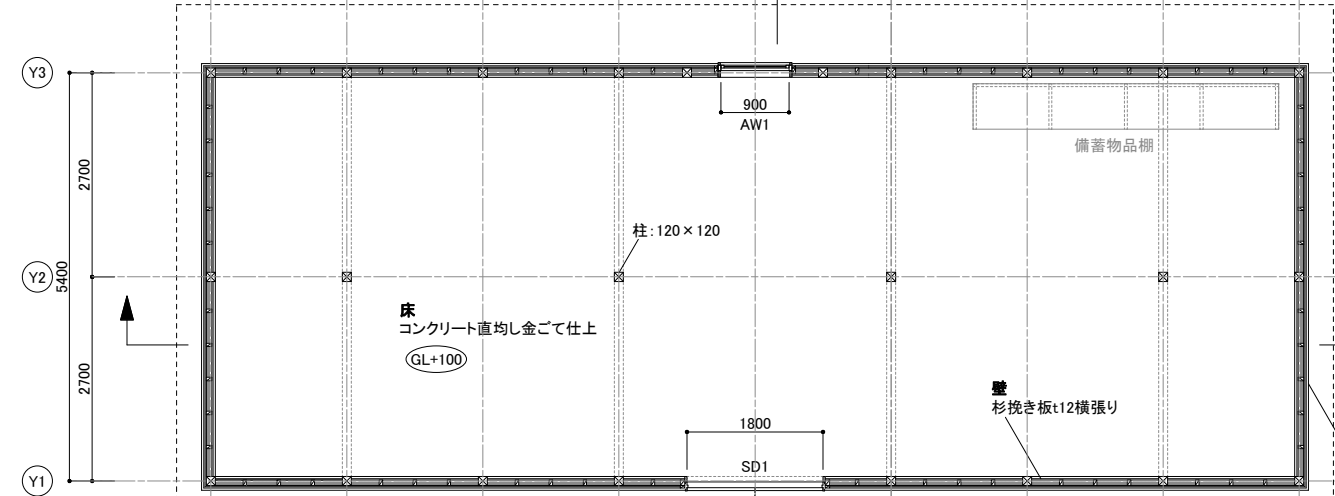
記号	長さ	高さ	1/2	面積 (㎡)
a-b	14,640	0+0	0.5	0
b-c	5,640	0+0	0.5	0
c-d	14,640	0+0	0.5	0
d-a	5,640	0+0	0.5	0
合計	40.56			0
合計面積/周長				0
地盤面				GL±0m



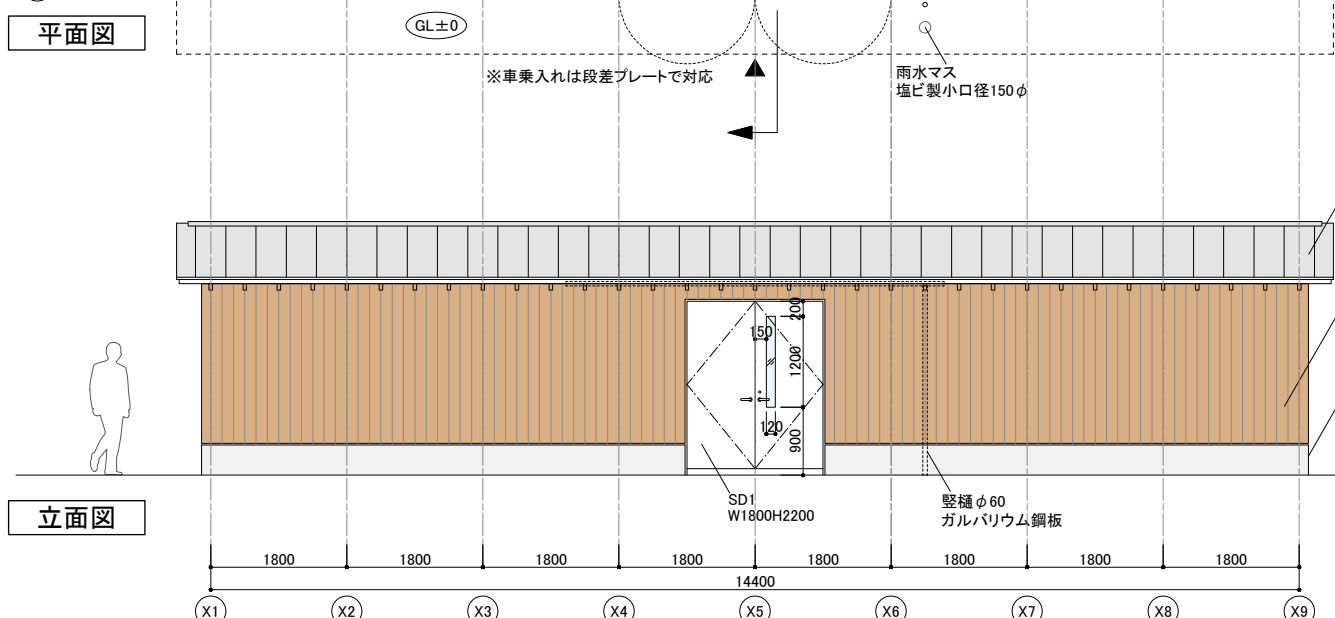
天井伏図



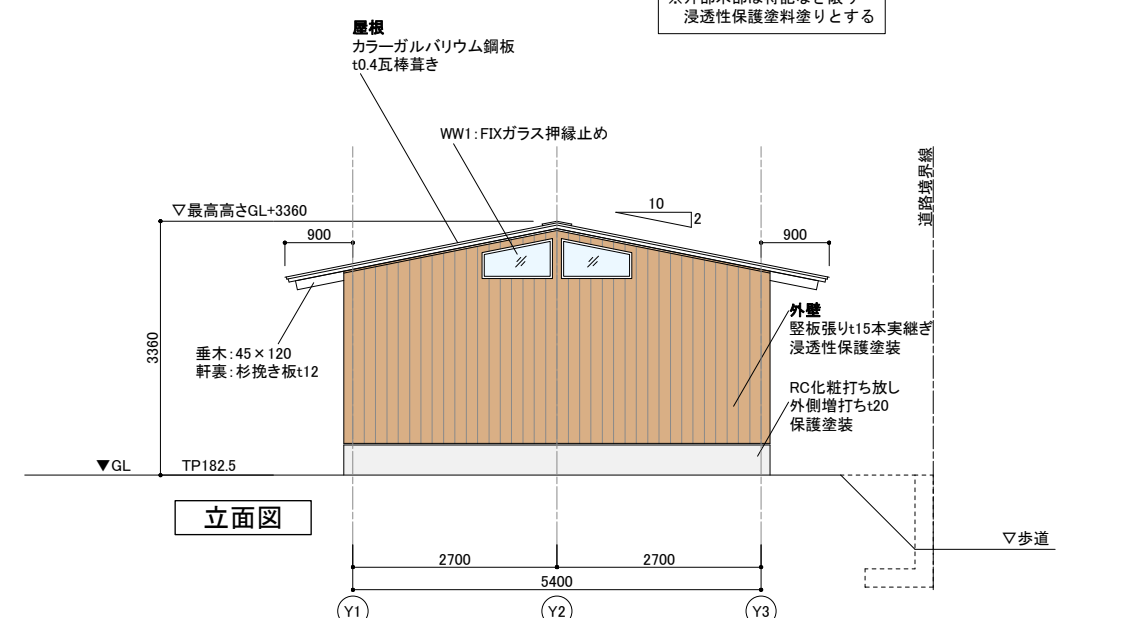
屋根伏図



平面図



立面図

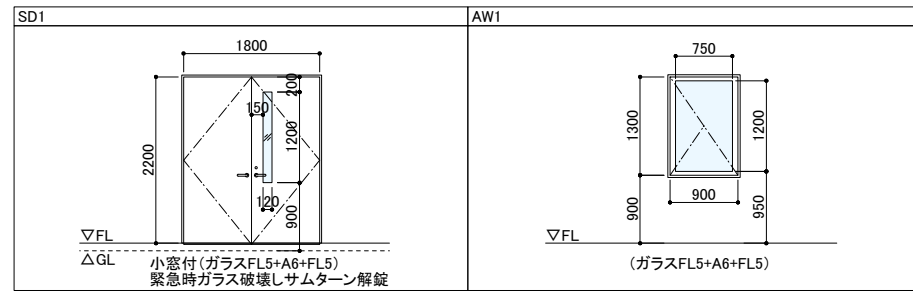


立面図

※外部木部は特記なき限り 浸透性保護塗料塗りとする

新庁舎整備事業 倉庫 I 建設工事		図名	平面図・天井伏図	図号	
		図名	立面図・屋根伏図	図号	
		縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)	日付	2019.02
一級建築士事務所 第12399号 (有) 香山舎建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10JT本郷3F 一級建築士 第65408号 佐伯和俊		構造: 一級建築士事務所 東京都知事登録 第56306号 株式会社 KAP 一級建築士 第341678号 (構造設計一級建築士 第9490号) 萩生田秀之			

消防法令上の無窓階判定



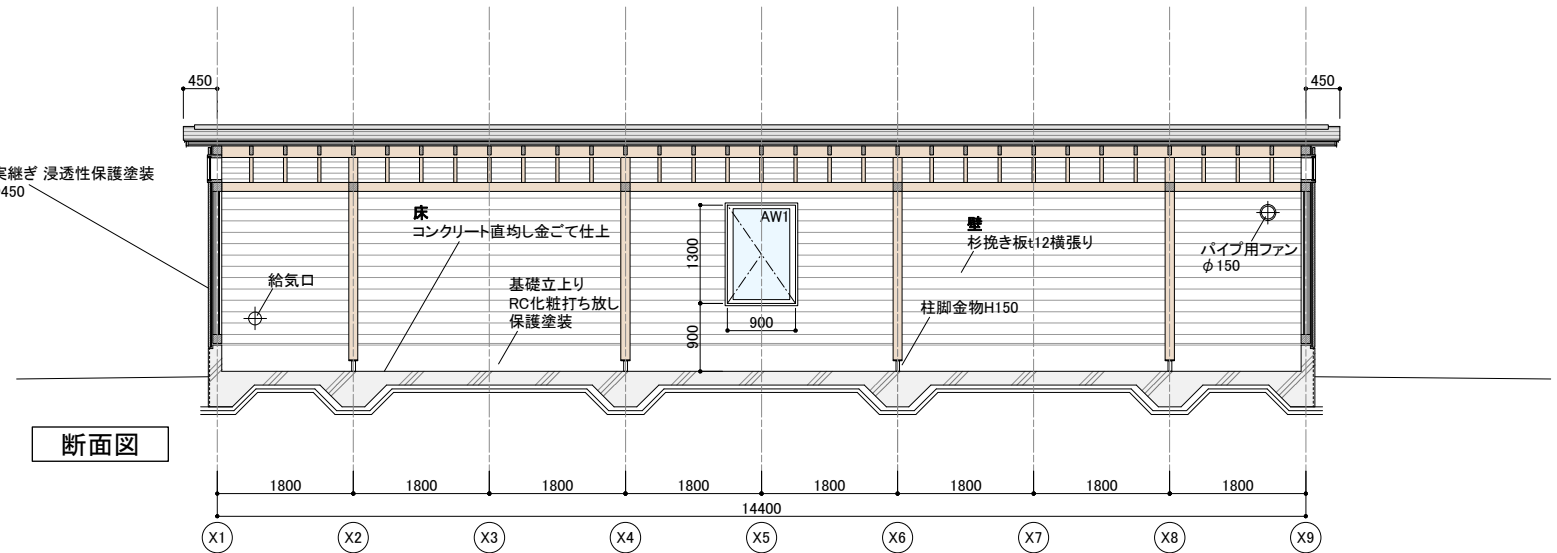
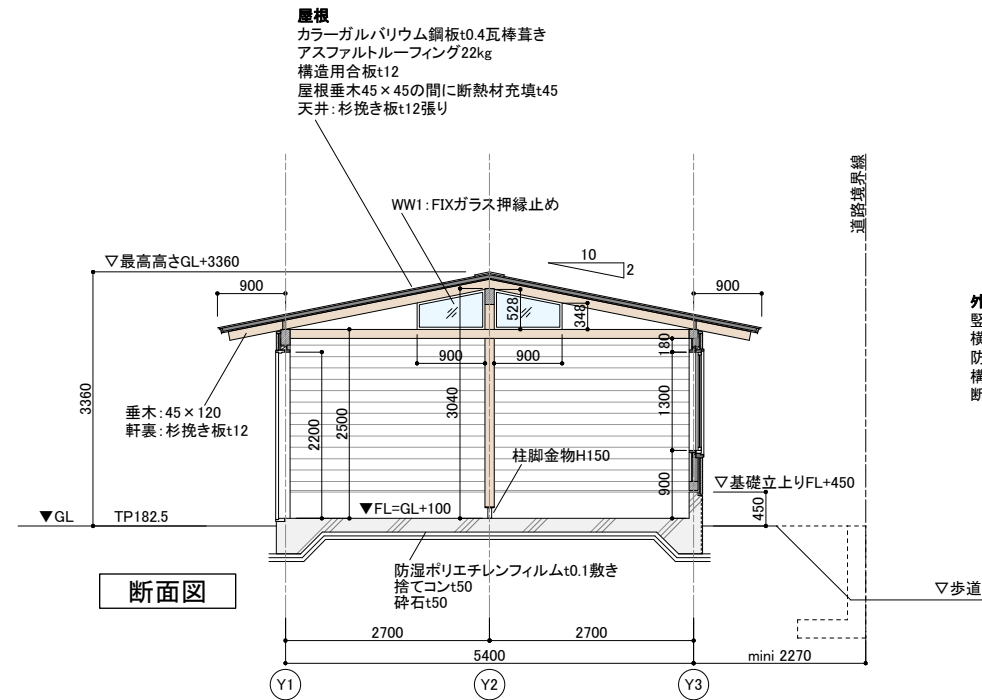
建具	種別	数	有効幅	有効高	開口面積	備考
SD1	両開き扉	1	1.800	2.200	3.960	小窓付き
AW1	たてすべり出し窓	1	0.750	1.200	0.900	ガラス部分寸法
合計有効開口面積					4.860㎡	
床面積77.76 ÷ 30 = 2.592㎡					OK(無窓階ではない)	

部位	仕上げ
屋根	カラーガルバリウム鋼板t0.4瓦棒葺き アスファルトルーフィング22kg 構造用合板t12(野地板) 屋根垂木45×45の間に断熱材充填t45
種	軒樋:ガルバリウム鋼板 半丸 竪樋:ガルバリウム鋼板 φ60
外壁	縦板張りt15本実継ぎ 浸透性保護塗装 横筋線18×45@450 防湿防水シート 構造用合板t12 柱間断熱材充填t45
外壁	基礎立上り RC化粧打ち放し 保護塗装

※外部木部は特記なき限り、浸透性保護塗料塗りとする

部位	仕上げ
床	コンクリート直均し金ごて
巾木	
壁	杉挽き板t12横張り
天井	杉挽き板t12横張り

支給木材リスト	
倉庫 I	
土台:	ひのき120×120
桁・梁:	杉120×210
桁・梁:	杉120×120
管柱:	杉120×120
小屋束:	杉120×120
垂木:	杉45×120
間柱:	杉45×75
間柱:	杉90×75(合板継目)
はしご垂木:	杉45×45
断熱材間垂木:	杉45×45
面戸:	杉45×160
外壁:	杉板t15
軒天:	杉板t12
内壁:	杉板t12
天井:	杉板t12
額縁:	杉30×120
腰板:	杉30×150
押縁:	杉15×15



建具表																
階	記号	使用箇所	数	防火仕様		姿図および寸法 有効W×有効H(mm)		建具枠 見込		形式	建具枠種別	ガラス	金物・付属品	備考	非接触型 電気錠	
				防音仕様	遮音等級	(上段)	(下段)	額縁種別	屏仕上							
1階	SD 1	倉庫1	1	—	—			—	—	開閉 両面フラッシュ	曲げ枠 DP	FL5+AG+FL5	下記共通事項による	消防活動上有効な開口部		

建具表																
階	記号	使用箇所	数	防火仕様		姿図および寸法 有効W×有効H(mm)		建具枠 見込		形式	建具枠種別	ガラス	金物・付属品	備考	非接触型 電気錠	
				防音仕様	遮音等級	(上段)	(下段)	額縁種別	屏仕上							
1階	AW 1	倉庫1	1	—	—			90	—	たてすべり出し窓	—	FL5+AG+FL5		消防活動上有効な開口部		
	WW 1	倉庫1	4	—	—			90	—	FIX窓	—	FL5+AG+FL5				

防火戸記号凡例(建具表共通)

- 特2 特定防火設備(常時閉鎖式扉、令112条第14項第二号適合)
- 特2S 特定防火設備(随時閉鎖式扉、煙感知器連動、令112条第14項第二号適合)
- SS2 特定防火設備(随時閉鎖式シャッター、煙感知器連動、令112条第14項第二号適合)
- 特1 特定防火設備(常時閉鎖式扉、令112条第14項第一号適合)
- 特1S 特定防火設備(随時閉鎖式扉、煙感知器連動、令112条第14項第一号適合)
- SS1 特定防火設備(随時閉鎖式シャッター、煙感知器連動、令112条第14項第一号適合)
- 防 防火設備(常時閉鎖式扉、令112条第14項第一号適合)
- 不燃 自閉式不燃扉

建具共通事項

- ・建具寸法は有効の内法寸法を示す
- ・番指(SUS)付・戸当たり付き(WDは木製番指)
- ・ドアハンドルはSUS製とする
- ・外部に面するSDIについて
 - ・外部建具の下枠は水切り付き クツズリはSUS立上り付タイプ
 - ・外部建具はフッ素樹脂塗装現場塗装(塗装工事)
- ・ガラスは建設省通達「ガラスを用いた開口部の安全設計指針」によること
- ・ガラリはSUS製防鳥網付き
- ・排煙窓のクレセント、ハンドル、オペレーター等の高さはH1500以下とする

SD・SW共通事項

- ・特記無きSDの金物は下記とする
- 片開き戸
 - ヒボットヒンジ、ドアチェック、戸当たりレバーハンドル、本締錠
- 親子開き戸
 - ヒボットヒンジ、ドアチェック、戸当たりレバーハンドル、本締錠
- 両開き戸
 - 原位置調整、フランス落とし
- ・室内建具の仕上は SOPまたはEP-G塗装現場塗装(塗装工事)
- ・外部建具の仕上は全てDP:耐候性塗装(フッ素樹脂など)

ガラス共通事項

- ・

- ・随時閉鎖式防火戸について
 - 1枚の扉の面積が3㎡を超える場合は子扉付とする
- ・防音建具について
 - ・種と扉の剛性と精度を充分にとること
 - ・吊り込み精度をあげると共にスペーサーを取り付けることによりゴムの圧着度を調整すること
 - ・扉枠と扉体の隙間はモルタルで充填すること
 - ・扉枠は全てモルタル充填またはロックワール充填とする
 - ・音ずりは全てモルタル充填とする
 - ・扉はロックワール充填を原則とする

LSD共通事項

- ・軽量鋼製建具の戸先形状はエッジレスタイプとし、引戸はエアダンパー付きと標準とする
- ・ユニバーサルデザインスイッチは「HDS-4i/ナブコ自動ドア」同等品とする
- ・乳白色明かり窓は「UCW-201-100-45/UNION」同等品とする

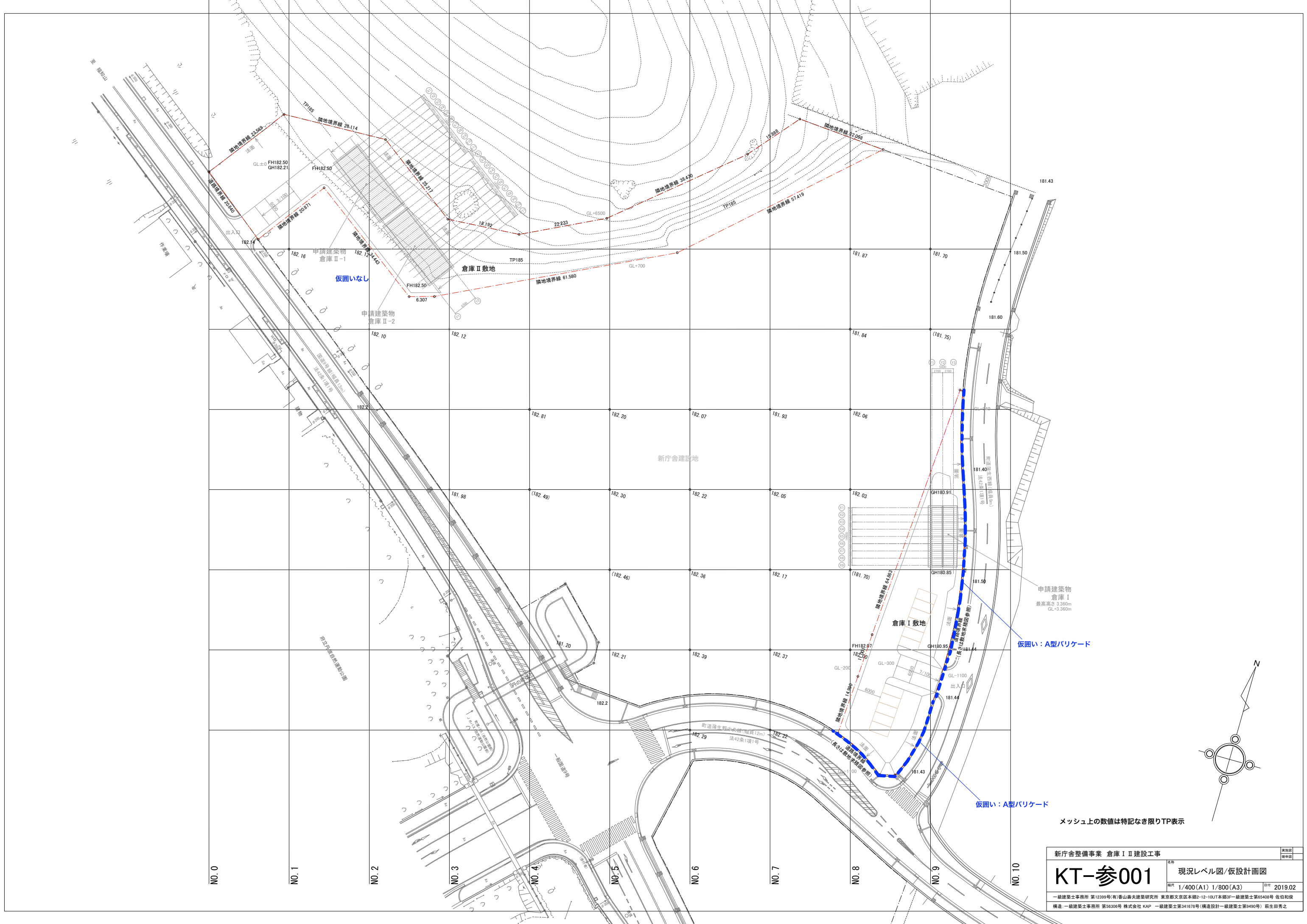
AW・AG・ACW共通事項

- ・特記無き限り
 - 種別、耐風圧性、気密性、水密性は特記仕様書に基づく
 - 表面仕上は特記仕様書に基づく 附属金物一式とも
 - 「一般ビル用サッシ」はMTG70/三協アルミ同等品とする

その他

- ・WD/WWの戸先は大手とし、面材がOSCL塗装の場合は堅木OCCLとし、その他の場合は木製OPとする

新庁舎整備事業 倉庫1 建設工事		名称		棟名		棟号	
KT1-A105			建具表				
1/100(A1)			1/200(A3)			2019.02	
<small>一級建築士事務所第12399号(有)香山壽夫建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 一級建築士第65408号 佐伯和俊 構造:一級建築士事務所 東京都知事登録第56306号 株式会社 KAP 一級建築士第341678号(構造設計)一級建築士第9490号 萩生田勇之</small>							

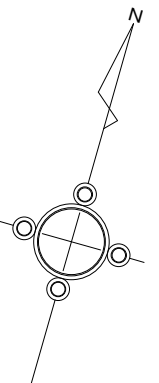


申請建築物
倉庫Ⅰ
最高高さ 3.360m
GL+3.360m

仮囲い: A型バリケード

仮囲い: A型バリケード

メッシュ上の数値は特記なき限りTP表示



新庁舎整備事業 倉庫ⅠⅡ建設工事		図名	現況レベル図/仮設計画図
KT-参001		縮尺	1/400(A1) 1/800(A3)
— 一般建築士事務所 第12399号(有)香山舎夫建築研究所 東京都文京区本郷2-12-10UT本郷3F 一般建築士第65408号 佐伯和俊		日付	2019.02
構造: 一般建築士事務所 第56306号 株式会社 KAP 一般建築士第341678号(構造設計)一般建築士第9490号 萩生田秀之			